

平成29年度 教育学研究科授業日程計画

前 期							後 期										
曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考
4月							1	2日 入学式 2日 オリエンテーション(新入生) 10日 授業開始	10月	1	2	3	4	5	6	7	2日 授業開始
	2	3	4	5	6	7	8			8	9	10	11	12	13	14	9日 体育の日
	9	10	11	12	13	14	15			15	16	17	18	19	20	21	
	16	17	18	19	20	21	22			22	23	24	25	26	27	28	
	23	24	25	26	27	28	29			29	30	31					*31日は木曜日の授業を行う。
	30																
5月		1	2	3	4	5	6	*2日は金曜日の授業を行う。 3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日	11月				1	2	3	4	*1日は金曜日の授業を行う。 3日 文化の日 3日～5日 大学祭(準備・片付け含む)
	7	8	9	10	11	12	13	*8日は木曜日の授業を行う。		5	6	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	19	20			12	13	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	26	27			19	20	21	22	23	24	25	23日 勤労感謝の日
	28	29	30	31						26	27	28	29	30			30日 気象警報により休講となった場合の補講日
6月					1	2	3	8日 気象警報により休講となった場合の補講日	12月						1	2	
	4	5	6	7	8	9	10			3	4	5	6	7	8	9	
	11	12	13	14	15	16	17			10	11	12	13	14	15	16	
	18	19	20	21	22	23	24			17	18	19	20	21	22	23	23日 天皇誕生日 25日～1月4日 冬季休業 25日 休業日であるが授業を行う。
	25	26	27	28	29	30				24	25	26	27	28	29	30	
7月							1	17日 海の日 31日 29年9月修了に係る修士論文提出締切	1月		1	2	3	4	5	6	1日 元日
	2	3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	13	8日 成人の日
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20	12日 大学入試センター試験実施に伴う臨時休講
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27	13日・14日 大学入試センター試験
	23	24	25	26	27	28	29			28	29	30	31				22日 30年3月修了に係る修士論文提出締切
	30	31															
8月			1	2	3	4	5	1日～9月30日 夏季休業 1日～4日,7日 休業日であるが授業を行う。	2月					1	2	3	11日 建国記念の日
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	12日 振替休日 13日 気象警報により休講となった場合の補講日
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	14日 臨時休講
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	15日～3月31日 春季休業
	27	28	29	30	31					25	26	27	28				
9月						1	2	18日 敬老の日 23日 秋分の日	3月					1	2	3	
	3	4	5	6	7	8	9			4	5	6	7	8	9	10	
	10	11	12	13	14	15	16			11	12	13	14	15	16	17	
	17	18	19	20	21	22	23			18	19	20	21	22	23	24	21日 春分の日
	24	25	26	27	28	29	30			25	26	27	28	29	30	31	23日 学位授与式
前期計	16	16	16	16	16			授業週数(含試験)	後期計	16	16	16	16	16			授業週数(含試験)

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行います。

※土曜日、夏季休業・冬季休業・春季休業期間中においても授業・試験を行うことがあります。

V 岡山大学大学院教育学研究科における修士の研究指導 及び学位審査に関する要項

(趣旨)

第1条 この要項は、岡山大学大学院教育学研究科（以下「研究科」という。）の修士の学位の授与に関し、岡山大学学位規則（平成16年岡大規程第1号）及び岡山大学大学院教育学研究科規程（平成16年岡大院教規程第1号）に定めのあるもののほか、必要な事項を定める。

(指導教員)

第2条 指導教員は、学生の所属する専攻・コースの教授又は研究科教授会において研究指導担当者として認められた准教授（以下「研究指導担当准教授」という。）とする。

(副指導教員)

第3条 指導教員に協力して指導をするため、学生ごとに副指導教員を定める。

2 副指導教員は、学生の所属する専攻・コースの教授、准教授、講師又は助教とする。ただし、指導教員が必要があると認める場合は、他専攻・コースの教授、准教授、講師又は助教を副指導教員とすることができる。

(指導の方法)

第4条 研究指導を充実させるために、学位論文の研究内容に関する中間発表会を原則として行うものとする。

(学位論文の提出)

第5条 学位論文の審査を受けようとする者は、学位申請書に学位論文を添え、指導教員を経て、研究科長に提出するものとする。

(審査委員会)

第6条 学位論文の審査を行うため、学生ごとに審査委員会を置く。

2 審査委員会は、主査及び複数の副査の審査委員をもって組織する。

3 主査は、原則として、指導教員をもって充てるものとする。

4 主査が研究指導担当准教授の場合にあっては、副査に1名以上の教授を含めるものとする。

5 教科教育専攻の研究領域に係る学位論文の審査にあっては、原則として審査委員に教科教育担当の教員を含めるものとする。

(審査基準)

第7条 審査委員会は、別に定める学位論文の審査基準に基づき、総合的に評価するものとする。

2 審査委員会は、評価の客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示する。

(最終試験)

第8条 学位論文の発表会（口頭発表）等による最終試験の実施細目は、専攻・コースごとに定めるものとする。

2 発表会等は、原則として公開するものとし、日時、場所は、各専攻・コースで公表する。

(審査結果及び最終試験の報告)

第9条 審査委員会は、学位論文の審査及び最終試験の結果に基づいて、学位論文審査・最終試験報告書を作成し、研究科長に報告するものとする。

2 最終試験の成績の評価は、合否をもって示す。

(雑則)

第10条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、研究科教授会の議を経て研究科長が別に定める。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年6月18日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この要項は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前の入学者については、改正後の岡山大学大学院教育学研究科における修士の研究指導及び学位審査に関する要項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

この要項は、平成26年7月24日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

岡山大学大学院教育学研究科（修士課程）学位論文の審査基準

平成26年7月23日 研究科教授会承認

岡山大学大学院教育学研究科修士課程における学位論文の審査は、以下の審査基準に基づき厳正に実施する。

なお、必要に応じ、各専攻・コースごとに、教育研究分野の特性を考慮した適正な審査項目を追加できるものとする。

- (1) 研究の目的が適切に設定されているか
- (2) 研究の方法は当該学問分野において妥当であるか
- (3) 研究資料やデータの収集と分析が適切になされているか
- (4) 結論に至る過程が論理的であるか
- (5) 学術論文として表現や形式が適切であるか
- (6) 研究に独自性を含む内容があるか
- (7) 研究成果が学術的意義や社会的・教育的な意義をもつか
- (8) 関連する法律や研究倫理が遵守されているか

附 則

この基準は平成26年7月24日より施行し、平成26年4月1日から適用する。

VI 岡山大学大学院教育学研究科長期履修に関する取扱い内規

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学大学院教育学研究科規程（平成16年岡大院教規程第1号）第12条第2項の規定に基づき、標準修業年限を超えて一定の期間にわたる計画的な教育課程の履修（以下「長期履修」という。）に関する取扱いについて、必要な事項を定める。

(申請資格)

第2条 長期履修を申請することができる者は、次の各号に掲げる要件を満たす者とする。

- 一 本研究科に入学する者又は入学後1年未満の者
- 二 現職教員等（臨時的雇用及び非常勤雇用を除く。）

(長期履修の履修コース及び最長在学年限)

第3条 長期履修の期間は、3年又は4年とし、3年履修コース又は4年履修コースと呼ぶものとする。

2 最長在学年限は、岡山大学大学院学則（平成16年岡大規則第3号）第1条第2項に規定する年限とする。

(申請手続)

第4条 長期履修コースの申請手続は、本研究科に入学する者にあつては入学手続期間までに、入学後1年未満の者にあつては入学年度の2月末日までに、次の各号に掲げる書類を研究科長に提出するものとする。

- 一 長期履修申請書（所定様式）
- 二 勤務先の所属長の承諾書（所定様式）

(長期履修の履修コース変更)

第5条 長期履修の履修コース変更は、1回限りとし、原則として1年次の2月末日までに次の各号に掲げる書類を研究科長に提出するものとする。

- 一 履修期間変更願（所定様式）
- 二 勤務先の所属長の承諾書（所定様式）

(標準修業年限履修コースへの変更)

第6条 標準修業年限（2年）履修コースへの変更申請は、1年次の2月末日までに次の各号に掲げる書類を研究科長に提出するものとする。

- 一 履修期間変更願（所定様式）
- 二 勤務先の所属長の承諾書（所定様式）

(審査及び許可)

第7条 第4条から第6条までの申請に係る審査は、教務委員会において行い、研究科教授会の議を経て、研究科長が許可する。

(授業履修の指導)

第8条 指導教員は学生の長期履修期間に応じて授業履修が計画的に行われるよう必要な指導を行うものとする。

(その他)

第9条 この内規の実施に関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

Ⅶ 教育学研究科における入学前の既修得単位の認定に関する申合せ

(趣旨)

第1条 本申合せは、教育学研究科（以下「本研究科」という。）1年次に入学した学生が本研究科入学前に本学又は他の大学の研究科において修得した単位の認定を申し出たときの取り扱い等に関して定めるものである。

(申請手続)

第2条 既修得単位の認定を受けようとする者は、指導教員の承認を得た上で、次の書類を取りそろえ、入学した年度の4月末日までに本研究科長に提出しなければならない。

- 一 単位認定願（本研究科所定の書類）
- 二 成績証明書及び講義内容を明示できるもの（講義概要等）

(単位の認定)

第3条 単位の認定は、教務委員会が審議の上、これを行うものとする。

- 2 単位の認定は、単位を修得した授業科目に相当する授業科目が本研究科において開講されている場合にこれを行うことができる。
- 3 単位の認定は、10単位を限度として、これを行うことができる。

(成績評価の表示)

第4条 成績評価の表示は「認定」とする。

(認定単位の扱い)

第5条 認定単位は、本研究科の課程修了の要件に含めることができる。

附 則

この申合せは、平成16年4月1日入学者より適用する。

Ⅷ 教育学研究科における転専攻・転コースに関する申合せ

1 趣旨

本申合せは、岡山大学大学院学則第25条（転研究科等）に基づき、岡山大学大学院教育学研究科（以下「本研究科」という。）における転専攻・転コース（以下「転専攻等」という。）に関する取り扱いについて定めるものである。

2 出願資格

転専攻等に出願できる者は、本研究科に在学している者とする。

3 出願手続き

転専攻等に出願する場合は、次の各号に定める所定の様式書類を教育学研究科長に提出するものとする。

- 一 転専攻等願
- 二 志望理由書
- 三 講座主任の出願許可書

4 出願期間

出願期間は、8月1日から8月7日及び2月1日から2月7日までとする。
ただし、8月7日及び2月7日が土曜日又は日曜日の場合は、翌週月曜日までとする。

5 選考組織

転専攻等を出願した者の選考は、志望した専攻・コースにおいて、講座主任を含む3名以上からなる選考委員会を設置し、行うものとする。

6 選考

転専攻等に出願した者の選考は、書類審査及び面接の結果を総合的に判断して行う。

7 許可

転専攻等に出願した者の許可は、選考委員会の選考結果に基づき、教務委員会及び教授会の議を経て決定するものとする。

8 転専攻等の時期

転専攻等の時期は、学期の始めとする。

9 受入年次

転専攻等に出願した者の受入年次は、1年次又は2年次とし、出願した者の希望に基づき選考の際、併せて決定する。

10 在学期間の通算

転専攻等を許可された者の在学期間の通算は、その専攻・コースの認定により、前専攻・コースの在学期間以内においてその専攻・コースに在学したものとみなすことができる。

11 在学期間

転専攻等を許可された者の在学期間は、受入年次の在学者に準じて取り扱う。

12 適用

この申合せは、平成20年4月1日より適用する。

Ⅸ 履修等について

1 履修登録等

- (1) 修了要件単位数については、教育学研究科規程別表2に定める各専攻の履修基準単位数に従って修得してください。
- (2) 履修科目は、4月の始めに指導教員の指導のもとに年間の履修計画を立て、指定された期間に学内（研究室等）のパソコンを利用してWebにより履修登録を行い、翌日以降に、必ず登録の確認を行ってください。
なお、確認の結果、エラーとなった科目は、履修登録ができていません。講義番号等を確認し、再度登録してください。履修登録ができていない科目の履修及び単位修得は認められませんので留意してください。不明な点があれば、教育学系教務学生係へお尋ねください。
履修登録期間等の詳細は掲示等によりお知らせします。
- (3) 共通基礎科目及び専門基礎科目を除く各授業科目は、繰り返し履修が可能です。ただし、教育臨床心理学専攻及び教職実践専攻の開設授業科目は繰り返し履修することはできません。なお、繰り返し履修した授業科目の2回目以降に修得した単位は、教員免許取得には使えませんので注意してください。
- (4) 修士課程で開講する「課題研究」及び専門職学位課程(教職大学院)で開講する「教育実践研究Ⅰ～Ⅲ」のうち、本学生便覧「XII 平成28年度開講科目及び担当教員」の担当教員欄に“指導教員”と記載のある授業科目については、指導教員毎に講義番号を設定しています。これらの講義番号については、オリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を確認のうえ、履修登録をしてください。
- (5) 諸届及び提出物は指定された期日・時刻までに必ず提出してください。ただし、学生便覧で指定された期日が休日の場合は、翌日の指定された時刻までとします。
- (6) 学生に対する種々の連絡は、掲示により行いますので、講義棟の掲示板を必ず見てください。

2 学位論文の提出（修士課程の学生のみ）

学位論文は修了年度の1月20日までに、教育学系教務学生係へ提出してください。前期末に修了する見込みの者は、その年の7月31日までに教育学系教務学生係へ提出してください。

ただし、上記提出期限が土曜日又は日曜日の場合は、翌週月曜日が提出期限となります。

3 単位の認定及び成績の評価

- (1) 成績評価の方法は、各授業科目のシラバスに明記しており、学期末試験のみに偏らないよう、学習への意欲や態度、レポート、試験など多様な方法を組み合わせ、多面的な評価を行います。
- (2) 単位の認定は、授業時間の3分の2以上出席した者について、試験・レポート及び平素の成績等により、授業担当教員が行います。
- (3) 本学では、平成20年度入学生よりGPA制度を導入しています。GPA制度については、本便覧の「GPA制度について」を参照してください。成績の評価は、A⁺（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、修了及び認定を合格（単位修得）とし、F（59点以下）を不合格（単位未修得）とします。

4 定期試験等

- (1) 各授業科目の試験は、原則として学期末に各授業担当教員の指示する日・時限で行います。
- (2) 病気その他やむを得ない事故等のために受験できない者に対しては、試験を延期されることがあります。このような事態が発生した場合は、すみやかに授業担当教員に申し出て、指示に従ってください。受験延期を許可された者に対しては、当初の試験日から2か月以内（後期末試験の場合はその学年末まで）に追試験を行います。
- (3) レポート等は、指定された期限までに直接授業担当教員に提出しなければなりません。

5 受験心得

定期試験等の受験に関する注意事項は、下記のとおりです。各事項を充分熟読の上受験してください。

- (1) 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- (2) 監督者が指定した座席において受験すること。
- (3) 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- (4) 受験中、机の上に置くことができるものは、学生証、筆記用具（筆箱等を除く。）及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。また、机の棚板（物入れ）には何も置かないこと。
- (5) 携帯電話や音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- (6) 解答用紙には、所属学部等名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- (7) 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- (8) 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- (9) 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。
自己の机の上に置いて退室すると当該授業科目の単位は認定しない。
- (10) 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。

なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

懲戒処分の対象となる行為は次のとおりである。ここで、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。

- 1) 代理（替玉）受験をしたり、させたりすること
- 2) 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他不正行為の手段となり得る物品を参照すること又は使用すること
- 3) 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること
- 4) 答案を交換すること
- 5) 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること
- 6) 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること
- 7) 所持品、電子機器類、身体、机又は壁等にかき込みをして試験に臨むこと

- 8) 不正行為を幫助すること
- 9) 試験時間中に、不正行為の手段となり得る物品を机の棚板（物入れ）に置いておくこと
- 10) 不正行為を行おうとすること又は監督者の注意若しくは指示に従わないこと
- 11) その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること

また、不正行為を行った場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に履修している全ての授業科目（学期をまたがって履修する授業科目を含む。）の単位は認定しない。

6 成績の登録及び通知

- (1) 修得した授業科目の成績は、すべて学籍簿に登録されます。
- (2) 成績通知方法については、次の学期の始まる前（修了年次後期の場合は学期末）に、別途掲示によりお知らせします。
- (3) 成績評価の方法等については、授業担当教員に随時、問い合わせることができます。但し、評点に係る問合せについては、成績開示後、10日以内に行うものとします。
- (4) 成績評価等に係る問合せについて、授業担当教員から十分な回答が得られない場合、教育学系教務学生係を通じて教務委員会に申し出ることができます。

7 学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱い（気象警報発令時の休講・インフルエンザ罹患時の公欠等）

気象警報やインフルエンザに罹患した場合など通学が困難となる事由が発生した場合の授業（定期試験を含む。以下同じ。）等については、「休講」、または所定の手続きを行うことにより「公欠」、「準公欠」の取扱いとなります。

「休講」となった授業については、後日、原則として補講を行うものとします。また、「公欠」、「準公欠」の場合は、原則として補講は行わず、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。詳細は、授業担当教員へ確認してください。なお、公欠及び準公欠扱いとすることができる回数は、当該授業科目の授業回数の3分の1を超えることができません。

なお、以下の取扱いの概略については、別紙「学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて《概念図》」を参考にしてください。

- (1) 「本学の所在地（以下「キャンパス」という。）に特別警報及び気象警報（暴風警報、暴風雪警報及び大雪警報に限る。ただし、三朝キャンパスは大雪警報を除く。以下特別警報とまとめて「気象警報等」という。）が発表された場合」

本学のキャンパスを含む地域に、気象警報等が発表された場合の授業は、次のとおり取り扱います。

【昼間に開講する授業】

- ・気象警報等が、午前6時から午前8時40分（授業開始時刻）までに出ている場合は、全ての授業を休講とします。なお、気象警報等が、午前8時40分までに解除されても、全ての授業は休講とします。
- ・授業開始後に気象警報が出された場合は、次の時限以降の全ての授業を休講とします。特別警報が発表された場合は直ちに全ての授業を休講とします。

【夜間に開講する授業】

- ・ 気象警報等が、午後3時から午後6時（授業開始時刻）までに出ている場合は、全ての授業を休講とします。なお、気象警報等が、午後6時まで解除されても、全ての授業は休講とします。
- ・ 授業開始後に気象警報が出された場合は、次の時限以降の全ての授業を休講とします。特別警報が発表された場合は直ちに全ての授業を休講とします。

① 対象となる気象警報等が発表されている地域

- ・ 岡山市内にある本学の「津島キャンパス」、「鹿田キャンパス」、その他キャンパス及び玉野市並びに瀬戸内市にある本学のキャンパスで行われる授業については、岡山地方気象台から発表の「岡山地域」又は「岡山県南部地域」あるいは「岡山県全域」
- ・ 本学の倉敷キャンパスで行われる授業については、岡山地方気象台から発表の「倉敷地域」又は「岡山県南部地域」あるいは「岡山県全域」
- ・ 本学の三朝キャンパスで行われる授業については、鳥取地方気象台から発表の三朝町を含む地域
- ・ 上記以外の本学のキャンパスで行われる授業については、当該キャンパスの所在地の管轄気象台から発表のその所在地を含む地域

注) 地域区分の内訳は、以下のとおり。

岡山県全域	=	岡山県南部地域及び岡山県北部地域
岡山県南部地域	=	岡山地域、東備地域、倉敷地域、井笠地域及び高梁地域
岡山県北部地域	=	新見地域、真庭地域、津山地域及び勝英地域
岡山地域	=	岡山市、瀬戸内市、玉野市及び吉備中央町（いずれかの市町村に気象警報等が発表された場合を含む。）
倉敷地域	=	倉敷市、総社市及び早島町（いずれかの市町村に気象警報等が発表された場合を含む。）

② 休講の周知方法等

- ・ 気象警報等が発表された場合は、速やかに休講の周知を行い、この場合の休講の周知は、Gmail*、学内掲示、本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行います。なお、授業開始後に気象警報等が出された場合は、学内掲示等により周知するとともに、授業中のものにあつては、授業担当教員を通じて周知します。ただし、国立大学法人岡山大学職員就業規則第2条第1項第1号に規定する一般職員（以下「一般職員」という。）の勤務時間外に気象警報等が発表された場合は、翌勤務日の勤務時間内において、速やかに休講の周知を行います。
- ・ 上記にかかわらず、気象警報等の発表が、一般職員の勤務時間外において予想される場合は、Gmail、学内掲示及び本学ホームページにより、前に規定する休講の取扱いについて、あらかじめ周知するものとします。
- ・ 休講決定後、直ちに下校することが危険な場合には、学内の施設で待機しても構いません。

③ 課外活動の取扱い

- ・ 休講措置がとられた場合、課外活動は全て禁止とします。

*Gmailとは、学生用メールのことで、緊急事項や学務に関する重要事項などについて本学から発信する情報伝達手段の一つとなっています。学生の皆さんは、携帯電話への転送設定を行っていただくことにより、身近に情報を受信することができます。

(2) 「休講措置の対象とならない気象警報等が発表されて通学が困難な場合及び通学に利用する

交通機関が運行休止になった場合」

休講措置の対象とならない気象警報等（注1）や交通機関の運行休止（注2）により通学が困難な場合は、届出により、出席できなかった授業を公欠扱いとします。

注1 休講措置の対象とならない気象警報等とは…

上記(1)の対象となる気象警報等以外の気象警報、又は本学のキャンパス地域には気象警報等が出ていないが、学生が住んでいる地域に気象警報等が出て通学が困難な場合です。

注2 交通機関の運行休止とは…

気象現象又は地震により、鉄道や道路が遮断されて交通機関が運行休止になり通学が困難な場合です。（それ以外の理由による公共交通機関の運行休止を含みます。）

① 公欠の届出

通学可能となった後、「授業公欠届（気象警報等・交通機関の運休）」（所定様式）を交通機関の運行休止を明らかにする書類とともに教務担当へ提出してください。届出を受理した場合は、教務担当から授業担当教員へ連絡します。

（3）「親族が死亡した場合」

葬儀、服喪その他親族の死亡に伴い必要と認められる行事（以下「葬儀等」という。）のため出席できなかった授業については、届出により、公欠扱いとします。

① 公欠となる親族の範囲

公欠となる親族の範囲は、配偶者、1親等（父母、子）及び2親等（祖父母、兄弟姉妹、孫）です。

② 公欠となる期間

公欠は、次に掲げる期間とします。なお、葬儀等のため遠隔地に赴く場合は、往復に要する日数を加えた日数とします。ただし、特別な理由がある場合は、以下に定める起算日に関わらず、葬儀等が行われた日を含む次に掲げる期間とすることができる。

- ・配偶者及び1親等の場合は、死亡した日から起算して連続7日（休日を含む。）の範囲内の期間
- ・2親等の場合は、死亡した日から起算して連続3日（休日を含む。）の範囲内の期間

③ 公欠の届出

葬儀等を終えた後、「授業公欠届（忌引き）」（所定様式）を会葬礼状等とともに教務担当へ提出してください。届出を受理した場合は、教務担当から授業担当教員へ連絡します。

（4）「感染症に罹患した場合」

次表の感染症に罹患した場合は、医師の診断に基づき出席停止とし、出席停止となった期間に出席できなかった授業については、届出により、公欠扱いとします。

種類	病名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清亜型がH5N1であるものに限る。）、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第2種	インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、

百日咳, 麻疹, 流行性耳下腺炎, 風疹, 水痘, 咽頭結膜熱, 結核, 髄膜炎菌性髄膜炎

① 出席停止の期間

出席停止の期間は、次表の期間を基準に、医師に治癒したと診断されるまでとし、病名及び罹患期間が記載された医師の発行する診断書（治癒証明書）に基づき措置します。

種類	出席停止の期間
第1種	治癒するまで。
第2種	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあつては、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。 ・百日咳にあつては、特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。 ・麻疹にあつては、解熱した後3日を経過するまで。 ・流行性耳下腺炎にあつては、耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。 ・風疹にあつては、発疹が消失するまで。 ・水痘にあつては、すべての発疹が痂皮化するまで。 ・咽頭結膜熱にあつては、主要症状が消退した後2日を経過するまで。 ・結核及び髄膜炎菌性髄膜炎にあつては、病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで。 <p>※病状により医師において感染のおそれがないと認めるときは、上記の限りではありません。</p>

② 公欠の届出

通学可能となった後、「授業公欠届（感染症）」（所定様式）を医師の診断書（治癒証明書（コピー可））とともに教務担当へ提出してください。届出を受理した場合は、教務担当から授業担当教員へ連絡します。

（5）「感染の拡大を防止するために本学の一部又は全部を休業する場合」

本学の危機管理対策に基づき、感染症罹患者の発生に伴い、感染症の感染拡大を防止する目的で休業措置をとります。

① 休業となった期間の授業の取扱い

休業となった期間の授業の取扱いは、その都度、学長及び教育担当理事及び関係者で協議の上、学長が決定します。

② 休業の周知方法

休業の周知は、Gmail、学内掲示、本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行います。

（6）裁判員制度【準公欠】

裁判員制度に基づき、裁判員候補者として選任手続期日に裁判所へ出頭する場合及び裁判員（補充裁判員を含む。以下同じ。）として職務に従事する場合に出席できなかった授業については、届出により、準公欠扱いとします。

① 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、次に掲げる期間とします。なお、遠隔の裁判所へ赴く場合にあつては、往復に要する日数を加えた日数とします。

- 一 裁判員候補者として裁判所へ出頭する選任手続期日
- 二 裁判員として審理に従事する日

三 裁判員として評議・評決に従事する日

四 裁判員として判決の宣告に立ち会う日

② 準公欠の届出

準公欠の届出は、裁判員としての職務を終えた後、所定様式により、学生が所属する学部等の教務担当へ、裁判所の発行する裁判員の職務に従事した期間の証明書とともに提出するものとします。ただし、選任手続期日に裁判所へ出頭し、裁判員に選任されなかった場合の準公欠の届出は、「裁判員等選任手続期日のお知らせ（呼出状）」に、当日出頭したことの証明を受けたものを提出するものとします。

学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡します。

③ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。

(7) その他証人、参考人等として官公署へ出頭する場合【準公欠】

証人、参考人等として官公署へ出頭するために出席できなかった授業については、届出により、準公欠扱いとします。

① 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、その用務に要する日数とします。なお、遠隔の官公署へ赴く場合にあつては、往復に要する日数を加えた日数とします。

② 準公欠の届出

準公欠の届出は、その用務を終えた後、所定様式により、学生が所属する学部等の教務担当へ、官公署の発行する当該用務に従事した期間の証明書又はその事実を証明する文書等とともに提出するものとします。

学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡します。

③ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。

(8) 災害ボランティア活動【準公欠】

災害ボランティア活動に従事するために出席できなかった授業については、下記⑤に定める所定の手続を経て、準公欠扱いとします。

① 対象となる災害

準公欠扱いの対象となる災害については、教育担当理事が決定し、その都度、公示するものとします。

② 保護者等の同意

災害ボランティア活動を希望する学生（以下「当該学生」という。）は、あらかじめ保護者等の同意を得て、自己の責任において、災害ボランティア活動に従事するものとします。

③ ボランティア団体への所属及び保険への加入

当該学生は、地方自治体又は各都道府県・市町村等の社会福祉協議会等のいずれかのボランティア団体に所属し、その責任の下で、災害ボランティア活動に従事するものとします。ただし、日本国外における災害ボランティア活動に従事する場合は、任意の非政府組織（NGO）又は特定非営利活動法人団体（NPO）等に所属し、その責任の下で、災害ボランティア活動に従

事するものとします。

また、災害ボランティア活動に従事する際は、事前に、社会福祉協議会等が取り扱うボランティア活動保険に加入するものとします。ただし、日本国外における災害ボランティア活動に従事する場合は、現地での災害ボランティア活動及び天災に対応する然るべき保険に加入するものとします。

④ 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、一の学期において7日の範囲内とし、現地へ赴く場合の往復に要する日数を含むものとします。

⑤ 準公欠の手続

準公欠の手続は、次のとおりとします。

- 1) 当該学生は、災害ボランティア活動のために現地に赴く前に、「災害ボランティア活動申請書」(所定様式)及び「学生の災害ボランティア活動による授業欠席に係る準公欠の取扱いについて(依頼)」(所定様式)を指導教員等へ提出するものとします。
- 2) 指導教員等は、当該学生から提出された「災害ボランティア活動申請書」(所定様式)及び「学生の災害ボランティア活動による授業欠席に係る準公欠の取扱いについて(依頼)」(所定様式)の内容を確認の上、授業への影響等を考慮して教育的指導を行い、当該災害ボランティア活動が適当であると認めるときは、これを許可するものとします。
- 3) 当該学生は、指導教員等の許可を得た後、「災害ボランティア活動申請書」(所定様式)及び「学生の災害ボランティア活動による授業欠席に係る準公欠の取扱いについて(依頼)」(所定様式)を所属する学部等の教務担当へ、提出するものとします。
- 4) 学部等の教務担当は、当該学生から提出された書類が適切に記入されていること及び社会福祉協議会等が取り扱うボランティア活動保険に加入済みであることを確認の上、受領した後、必要に応じて、関係教務委員会等へ報告するものとします。
- 5) 当該学生は、災害ボランティア活動終了後に、当該災害ボランティア活動の受入団体から発行されるボランティア活動証明書又は「災害ボランティア活動証明書」(所定様式)(以下「証明書」という。)を、学部等の教務担当へ提出するものとします。

なお、災害ボランティア活動において事故にあった場合は、事故報告書(様式任意)を併せて提出するものとします。

- 6) 学部等の教務担当は、当該学生から提出された証明書を確認した後、授業担当教員へ通知するとともに、必要に応じて、関係教務委員会等へ報告するものとします。

⑥ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。

(9) 骨髄移植のための骨髄液提供等【準公欠】

骨髄移植のために、配偶者、父母、子及び兄弟姉妹その他親族以外の者に、骨髄液提供等を行おうとする場合であって、財団法人骨髄移植推進財団に対してドナー登録を行った後、ドナー候補者又はドナーとなり、骨髄液提供等に必要入院等のために出席できなかった授業については、届出により、準公欠扱いとします。

① 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、次に掲げる期間とします。なお、入院等のために遠隔の医療機関等へ赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数とします。

- 一 ドナー候補者として、確認検査等の説明及び確認検査を受ける日
- 二 ドナー候補者として、骨髄液又は末梢血幹細胞採取に関する最終説明及び最終同意のために医療機関等に赴く日
- 三 ドナーとして、骨髄液又は末梢血幹細胞採取前の健康診断を行う日
- 四 骨髄液採取時に用いる自己血保存のための採血を行う日
- 五 末梢血幹細胞採取前の顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）の注射を行う日
- 六 骨髄液又は末梢血幹細胞採取に伴い入院する日
- 七 骨髄液又は末梢血幹細胞採取後の健康診断を行う日
- 八 その他骨髄バンク事業に関する手続等に必要となる日

② 準公欠の届出

準公欠の届出は、上記①に掲げる各期間の終了後、その都度、所定様式により、学生が所属する学部等の教務担当へ、財団法人骨髄移植推進財団の発行する証明書とともに提出するものとします。学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより、授業担当教員へ連絡するものとします。

③ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。

学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて《概念図》

公欠となる事項

1 気象警報・交通機関の運休

ケース①:
気象警報のうち、
(1)暴風警報
(2)暴風雪警報
(3)大雪警報(三朝を除く。)
(4)特別警報
のいずれかが発表されると…

大学は休講(※1)

この場合、課外活動についても全て禁止

後日、補講を実施

※1「休講」とは… 授業を取りやめること。

ケース②:
休講の対象とならない気象警報、交通機関の運行休止により通学が困難となった…

届け出ること、**公欠**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

2 忌引き

学生の親族に不幸が…
ケース①: 配偶者
ケース②: 1親等(父母、子)
ケース③: 2親等(祖父母、兄弟姉妹、孫)

届け出ること、**公欠**

①配偶者 死亡日から連続7日以内
②1親等 死亡日から連続7日以内
③2親等 死亡日から連続3日以内

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

3 感染症

学生が、感染症に罹患し、出席停止となったら…
・インフルエンザ
・麻疹 など
※特定の感染症に限る。

届け出ること、**公欠**

医師の発行する病名・罹患期間の記載された診断書(治療証明書)に基づき、罹患期間=公欠期間とする。

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

インフルエンザ、麻疹などの集団発生の場合、感染拡大防止の措置として…

大学は休業(※2)

感染症罹患者の発生に伴い、感染症の感染拡大を防止する目的で行う休業措置については、本学の危機管理対策に基づきものとする。

休業となった期間の授業の取扱いは、その都度、学長及び教育担当理事等で協議の上、学長が決定するものとする。

※2「休業」とは… 授業のみならず、研究活動についても行わないこと。原則として、大学への立ち入りを禁止する。

準公欠(※3)となる事項

1 裁判員制度

2 その他証人、参考人等として裁判所その他官公署へ出頭する場合

ケース①:
辞退せず、裁判員制度に基づき裁判所へ出頭したら…

届け出ること、**準公欠(※3)**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

ケース②:
証人や参考人等として、裁判所その他官公署へ出頭したら…

①出頭したことの証明書を添付
②当該職務に従事した期間の証明書を添付

3 骨髄移植のための骨髄液提供等

ドナー候補者又はドナーとなり、検査、入院又は諸手続等のために医療機関へ赴く場合は…

届け出ること、**準公欠(※3)**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

※親族以外に提供する場合に限る。

(財)骨髄移植推進財団の発行する証明書を添付

4 災害ボランティア活動

災害ボランティア活動に従事する場合は…

事前の申請により、**準公欠(※3)**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

※学期当たり、最大7日間(往復に要する日数を含む。)を限度とする。
※対象となる災害は、公示する。

①保護者等及び指導教員等の了承を得た上で、事前に、申請書等を提出
②ボランティア活動終了後、ボランティア活動証明書の提出

※3「準公欠」とは… 公欠に準じて取り扱う授業欠席のこと。

東日本大震災は対象となります。

【注意】 ◆ 上記の各手続きは、所属学部・コース・研究科の教務担当窓口にて行ってください。
◆ 上記以外の授業欠席については、公欠又は準公欠になりません。

G P A 制度について

1. GPA制度とは

岡山大学ではG P A制度を導入しています。

G P Aとは, Grade Point Average (グレード・ポイント・アベレージ) の略で, 欧米で一般的に行われている成績評価制度のことです。

G P A制度の成績の表し方とG P (グレード・ポイント) の換算は次のとおりです。

G P A制度による成績評価		
成績 (評点)	評語	G P
9 0 - 1 0 0 点	A +	欄外参照
8 0 - 8 9 点	A	
7 0 - 7 9 点	B	
6 0 - 6 9 点	C	
0 - 5 9 点	F	0

…合格
…不合格

G P (グレード・ポイント) 算出方法

$$G P = (\text{評点} - 55) / 10$$

※ただし, 評語「F」(不合格: 評点60点未満) のG P は0とします。また, 「W」, 「認定」, 「修了」, 「未修得」については, 対象外としG P を付しません。

G P A (グレード・ポイント・アベレージ) 算出方法

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のG P}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

例えば, 次の架空の成績を基にG P Aを考えてみると, 以下のようになります (実際には, 皆さんは一学期間にもっと多くの科目を履修します)。

科目名	単位数 (a)	評点	評語	G P (b)	a × b
〇〇学概論	1	95	A+	4.0	4.0
〇〇学要説	1	85	A	3.0	3.0
□□学演習 I	1	55	F	0	0
□□学演習 II	0.5	70	B	1.5	0.75
△△基礎実験	0.5	90	A+	3.5	1.75
計	4				9.5

上表の学生の場合

履修登録した授業科目の単位数の和 = 4

(履修登録した授業科目の単位数 × 当該授業科目のG P) の和 = 9.5

$$G P A = 9.5 \div 4 = 2.375$$

2. GPAの対象とならない科目

- ① 評点による評価を行わず, 「認定」又は「修了」の評語により, 単位を認定した科目
- ② 岡山大学以外で修得した科目を, 本学の単位として認定したもの

3. GPA制度の目的

- ① 成績不振の学生をいち早く発見し、アカデミック・アドバイザー等の教員を中心に、適切な指導を行うこと。
- ② GPAを目安にして、学生に履修登録科目数の自主規制を促し、計画的な履修を促すこと。
- ③ 学生に対して、修得単位数だけではなく、個々の単位のレベルアップを図るよう喚起すること。

XI コースワークについて

1 コースワークとは

大学院では、各専攻分野に関する高度な専門的知識・能力を修得できるように、各専攻・コースで複数の科目を体系的に履修できるようにしています。これらの科目がコースワークです。コースワークは、専攻・コースごとに全員が履修することになっています。

2 教育学研究科（修士課程）のコースワーク

(1) 概要

大学院修士課程のコースワークは専攻ごとに設定されており、各専攻分野の研究を遂行するうえで必要な基礎的知識や研究方法を段階的に習得できるようになっています。その課程は専攻によって科目名等の違いはあるものの、おおよそ次の4つの段階からなる8～10単位の科目によって構成されています。

- 第一段階「基礎理論」：教育学研究のために必要な基礎的理論の習得
- 第二段階「研究方法論」：教育学研究のために必要な研究方法論の習得
- 第三段階「理論や方法の応用」：教育学研究の理論や研究方法を教育実践研究に応用するためのスキルの習得
- 第四段階「実践研究」：附属学校などの教育現場における教育研究

修士課程の1年目の間にこれらを学ぶことによって、修士課程所属の学生全員が、各専攻分野の研究を遂行するうえで必要とされる教育学研究のための基礎的知識と研究方法を習得できるようになっています。

各専攻のコースワークを構成する科目とその概要は以下の通りです（*印がついている科目は分野及びコース別必修）。

- 学校教育学専攻
 - ・学校教育研究特論Ⅰ（基礎理論）
 - ・学校教育研究特論Ⅱ（教育学方法論）*
 - ・学校教育研究特論Ⅱ（教育心理学方法論）*
 - ・学校教育研究特論Ⅲ（教育学）*
 - ・学校教育研究特論Ⅲ（教育心理学）*
 - ・学校教育研究特論Ⅳ（実践研究）
- 発達支援学専攻
 - ・発達支援研究特論Ⅰ（発達基礎科学）
 - ・発達支援研究特論Ⅱ（発達支援の方法論）
 - ・発達支援研究特論Ⅲ（幼児教育学）*
 - ・発達支援研究特論Ⅲ（特別支援教育学）*
 - ・発達支援研究特論Ⅲ（養護実践学）*
 - ・発達支援研究特論Ⅳ（保育内容学）*
 - ・発達支援研究特論Ⅳ（特別支援実践学）*
 - ・発達支援研究特論Ⅳ（学校保健医科学）*
 - ・発達支援研究特論Ⅴ（幼児教育実践研究）*
 - ・発達支援研究特論Ⅴ（特別支援教育実践研究）*
 - ・発達支援研究特論Ⅴ（養護教育実践研究）*
- 教科教育学専攻（国語教育コースを例に）
 - ・教育研究特論Ⅰ（基礎理論）
 - ・教育研究特論Ⅱ（国語）*
 - ・教育研究特論Ⅲ（国語）*
 - ・教育研究特論Ⅳ（国語）*
 - ・教育研究特論Ⅴ（国語）*
- 教育臨床心理学専攻
 - ・臨床心理学特論Ⅰ

- ・臨床心理面接特論Ⅰ
- ・臨床心理査定演習Ⅰ
- ・臨床心理基礎実習Ⅰ
- ・臨床心理基礎実習Ⅱ
- ・臨床心理応用実習Ⅰ
- ・臨床心理応用実習Ⅱ

(2) 目的

各専攻のコースワークは、それぞれの専門領域において研究に取り組む際に必要とされる教育学研究の知識や方法を体系的に習得し、教育現場の実践的課題にそれらを応用して、それらの課題の解決に取り組むことができるように以下の4点を目的としています。

- ①教育学研究に取り組むために必要な、各専門領域における基礎的理論を習得する。
- ②習得した理論をふまえ自ら研究テーマを設定して教育学研究に取り組むために必要な研究方法を習得する。
- ③現代的な教育課題に関わる研究テーマに取り組むため、最新の研究成果を理解する。
- ④附属学校園などの教育現場において子どもや教員らと関わりながら、習得した理論や研究方法を現場の課題解決のために応用できる。

コースワークを構成する各科目の概要は、具体的には以下のようになっています（学校教育学専攻を例に）。

○学校教育学専攻

・学校教育研究特論Ⅰ（基礎理論）

学校教育に関する基礎的・基本的問題について、教育学的、教授学的、教育心理学的、発達心理学的、社会学的、制度的アプローチに基づいて講義と討議を行う。

・学校教育研究特論Ⅱ（教育学方法論）

教育研究における種々の方法論を知るとともに、その長所・短所を見極め、見いだされた研究課題に対してつねに適切な方法論を採りうるようになること。

・学校教育研究特論Ⅱ（教育心理学方法論）

学校教育にかかわる諸問題にアプローチするための教育心理学の方法論について実践的に学ぶ。実験の方法、調査の方法、データ解析の方法、プレゼンテーションの方法などを取り上げ、講義および実習を行う。

・学校教育研究特論Ⅲ（教育学）

(1) 教育の意義と本質、人間存在と子ども像の哲学的探究、(2) 教育観の変遷、学校と教師を中心とした教育の歴史的展開、(3) 異文化接触下における子どもの異文化適応、教科教育などに関わるトピックを取り上げる。授業は、講義・文献講読・討議を組み合わせる。

・学校教育研究特論Ⅲ（教育心理学）

前半は、学習と学習指導、教育評価、子どもの問題行動などにかかわるトピックについて取り上げ、後半は、児童期・青年期の発達、人格と適応などにかかわるトピックを取り上げる。授業は、講義と、受講生による討論、文献講読を含む演習を組み合わせる。

・学校教育研究特論Ⅳ（実践研究）

学校づくり、授業づくりおよび学級づくりの具体的な実践場面の観察と測定、またはそれらをめぐる実践者との実践の共同討議などを通して既習の学校教育研究の方法及び内容の再検討を行う。

(3) 履修方法

教育学研究科学生は、共通基礎科目である「学校教育の理念と今日的課題」を履修するとともに、各専攻に設置されているコースワークを履修します。

コースワークは、専攻によって履修の仕方が異なりますが、基本的には各科目の名称にあるⅠ～ⅣないしⅤの順番に履修していきます。

3 教育学研究科（教職大学院）のコースワーク

(1) 概要

現在の学校現場が抱える新しい複雑な教育課題に対応しうる高度な教育実践力を習得できるよう教職大学院では、複数の科目を体系的に履修できるようにしています。教職大学院のコースワークは、

- 「共通科目」(5 領域プラス1 領域)
- 「選択科目」(5 領域の授業科目群)
- 「学校における実習科目」(6 種)

から構成されています。コースワークを構成する科目とその概要は以下のとおりです。

○“5 領域プラス1”の共通科目

多角的な課題発見・分析能力の育成を目指し、総合的・概論的科目とデマンドサイドのニーズに基づいた科目を設定しています。中でも、主体的な課題の発見・分析を可能にするために本学独自の科目である「教育実践研究の方法」を設けているのが特徴です。

授業科目領域	授業科目名
教育課程の編成・実施に関する領域	・教育課程編成の実践と課題 ・特色あるカリキュラムの開発
教科等の実践的な指導方法に関する領域	・学習指導の実践と課題 ・授業の指導計画と教材開発
生徒指導・教育相談に関する領域	・生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題 ・通常学級における特別支援教育の実践と課題
学級・学校経営に関する領域	・学級・学年・学校経営の実践と課題 ・学校保健・学校安全とリスクマネジメント
学校経営と教員の在り方に関する領域	・学校教育の役割と教師の職能成長 ・学校とコミュニティ
教育実践研究に関する領域（岡大独自）	・教育実践研究の方法

○選択科目

選択科目は、学生のキャリア段階に応じた職能発達を促し、なおかつ今日的教育課題に対応できるようデマンドサイドのニーズを踏まえた5 領域、および教育実践研究で構成しています。

① 選択科目の5 領域

授業科目領域	授業科目名
教育課程・授業力育成に関する科目群	・授業アセスメント技術とその応用
	・学習意欲を高める学習指導の理論と実践
生徒指導・学級経営に関する科目群	・子ども分析と学級経営
	・特別活動とキャリア教育の実際
特別支援教育に関する科目群	・通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくり
今日的学力に対応する科目群	・アクティブラーニングの理論と実践
	・小学校英語教科化の理論と実践
	・道徳科の理論と実践
学校経営・学校組織開発に関する科目群	・スクールリーダーと組織開発
	・学校経営戦略と評価
	・校内研修のマネジメントとコンサルテーション

② 教育実践研究

共通科目と選択科目の5領域で習得した専門的知識・技術，および学校における実践を往還しながら，実践的な理論を構築していく科目群であり，教職大学院のカリキュラムのコアに位置づけています。学部新卒学生の場合と現職教員学生の場合を設定しています。

教育実践研究	学部新卒学生	一年次	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践研究Ⅰ（課題発見） ・教育実践研究Ⅱ（課題解決）
		二年次	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践研究Ⅲ（課題探究）
	現職教員学生	一年次	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践研究Ⅰ（課題分析） ・教育実践研究Ⅱ（課題提案）
		二年次	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践研究Ⅲ（課題検証）

○学校における実習科目

学校における実習は以下の6つです。学部新卒学生は3つの実習（課題発見実習，課題解決実習，課題探究実習），現職教員学生は職能発達に応じて課題分析実習かシャドウイング実習のいずれかと課題検証実習を履修します。（現職教員学生は，課題検証実習を免除されることがあります。）

授業科目名	対象	学年	単位数	実施方法
課題発見実習	学部新卒学生	一年次	3単位	前期/1週1回 〔実習校〕 地域協働学校・連携協力校 等
課題解決実習			5単位	集中/9月5週間 〔実習校〕 地域協働学校・連携協力校 等
課題探究実習			2単位	後期/1週1回 〔実習校〕 地域協働学校・連携協力校 等
課題分析実習	現職教員学生	一年次	4単位	通年/1週2回 〔実習校〕 現任校及び地域の学校・教育委員会
シャドウイング実習				
課題検証実習	現職教員学生	二年次	6単位	通年/1週3回 〔実習校〕 現任校及び地域の学校・教育委員会

(2) 目的

教職大学院のコースワークは、今後の学校教育に必要な専門的知識・技術を体系的に習得し、「実践（知）と理論（知）」の架橋・往還を通して多様で複雑な教育課題を探究していけるよう、以下の4点を目的としています。

- ① 今日の教育課題や教育事象について、それらの仕組みや成り立ちを分析的・理論的に考え、多角的に課題発見・分析できる能力を習得する。(共通科目)
- ② 習得した理論と学校での実習を踏まえ、自ら研究テーマを設定して教育実践研究に取り組むために必要な研究方法を習得する。(教育実践研究の方法)
- ③ 教職大学院で目指す「初任期リーダー」、「ミドルリーダー」、「学校リーダー」のうち、学生の職能発達に応じて必要とされる専門的な高度教育実践力を習得する。(選択科目)
- ④ 地域協働学校、連携協力校や現任校及び地域の学校におけるリアリティのあるケーススタディをもとに自己課題・学校課題を明確化し、習得した理論や研究方法を課題解決のために応用できる。(教育実践研究、実習)

(3) 履修方法

学部新卒学生及び岡山県派遣の現職教員学生は、主として1年目に「共通科目」と「教育実践研究Ⅰ・Ⅱ」「学校における実習科目」を履修し、2年目に「選択科目」「教育実践研究Ⅲ」「学校における実習」を履修します。岡山市派遣の現職教員学生は、1年目に、共通科目およびそれぞれ該当する6領域、選択科目の5領域および「教育実践研究Ⅰ・Ⅱ」、「学校における実習科目」を履修し、2年目に「教育実践研究Ⅲ」を履修します。

最終的に、課程修了のためには、総数46単位以上を取得する必要があります(内訳は以下のとおり)。

共通科目	選択科目	学校における実習科目	単位総数
22 単位	14 単位	10 単位	46 単位

さらに、教職大学院では、修士論文に代わる「教育実践研究報告書」の作成を課しています。学生は、「教育実践研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「学校における実習」を往還させながら、教育実践研究報告書を作成することになります。

なお、岡山県教育委員会派遣の現職教員学生の実習スケジュールは次ようになります。

[1年目]

[2年目]

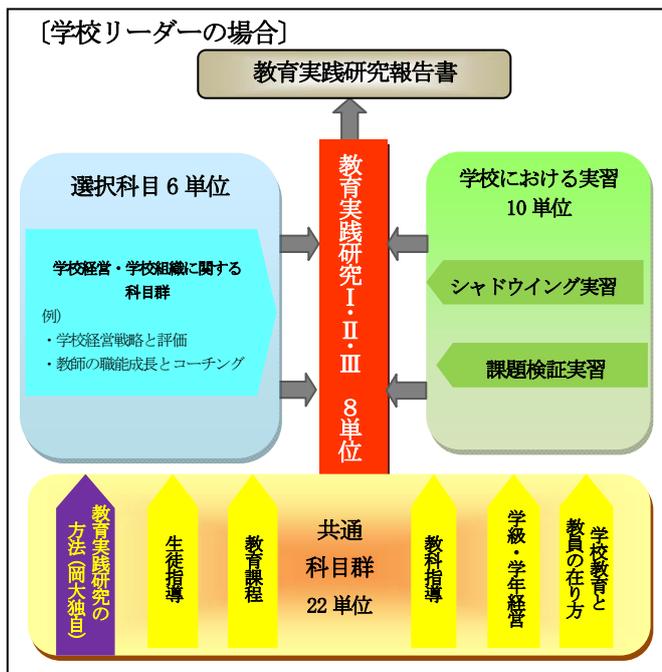
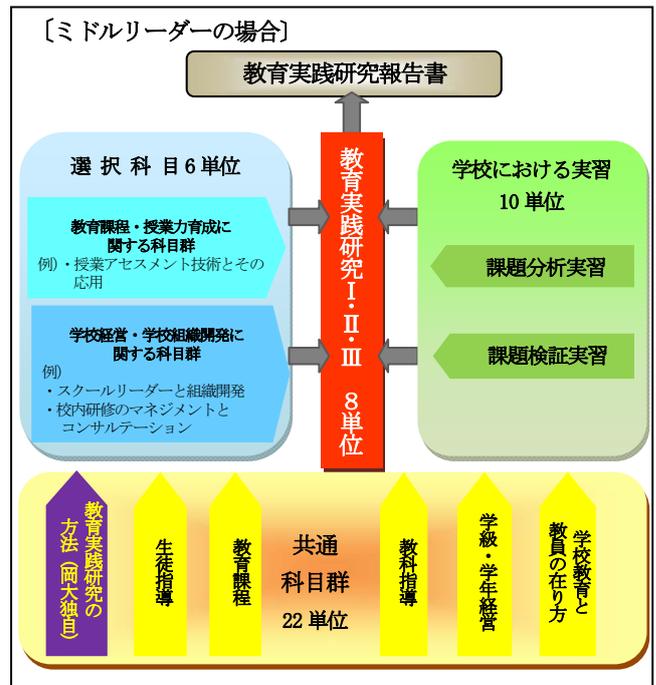
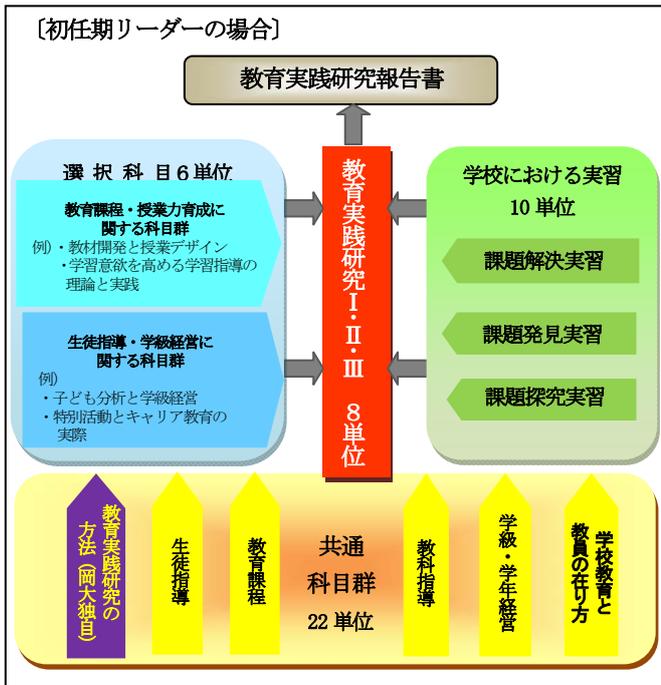
月	火	水	木	金
現任校や地域の学校	大 学	現任校や地域の学校	大 学	大 学

月	火	水	木	金
大 学	現任校や地域の学校	大 学	現任校や地域の学校	現任校や地域の学校

※岡山市教育委員会派遣の現職教員学生は2年次の実習が免除されることがあります。

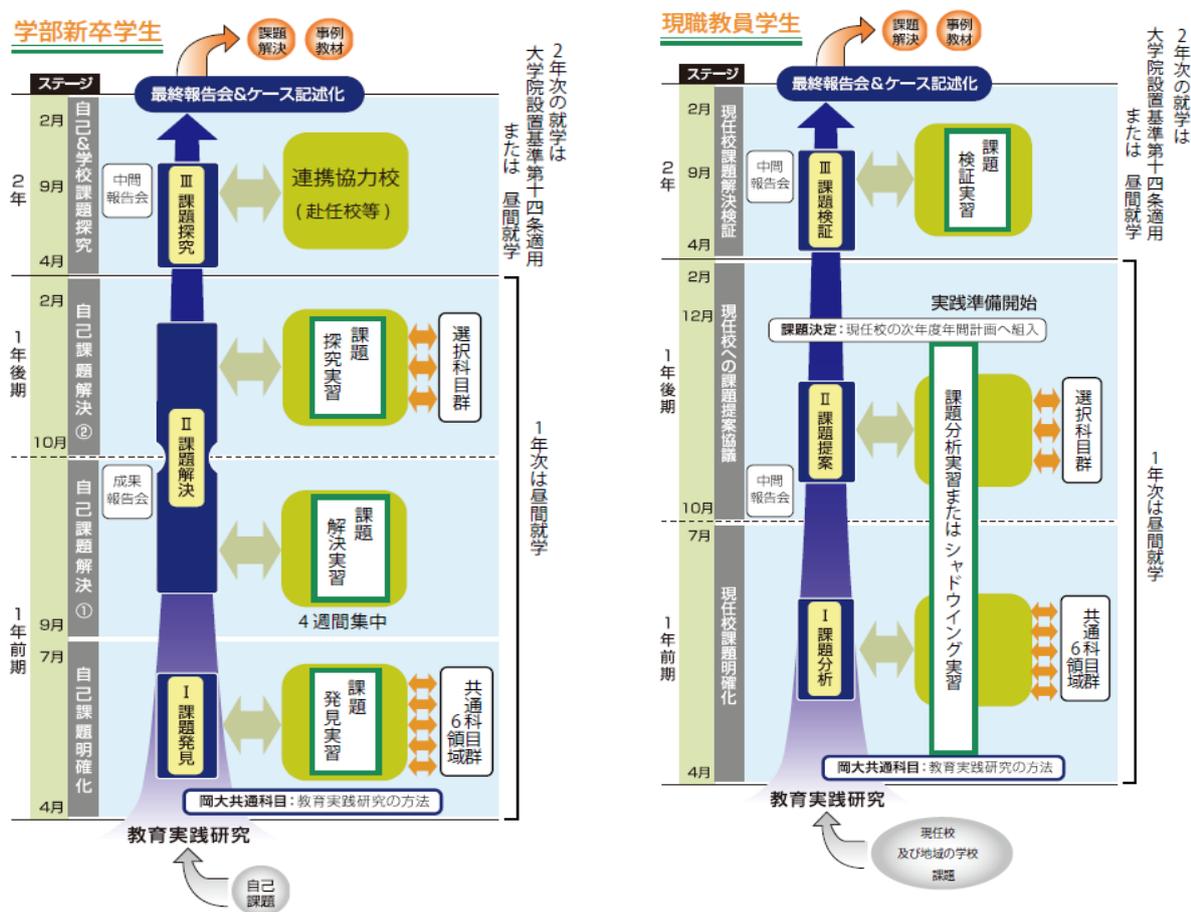
(4) カリキュラムマップ

教職大学院では、学生のキャリア段階を踏まえ、「初任期リーダー」「ミドルリーダー」「学校リーダー」としてふさわしい高度教育実践力を備えた人材を育成することを目的としています。初任期リーダー、ミドルリーダー、学校リーダーにそれぞれ必要とされる教育実践力は異なり、たとえば、初任期リーダーには授業経営や学級経営の力が、ミドルリーダーには学級・学年経営や対人マネジメントの力が、学校リーダーには学校経営や人材育成の力が主として求められます。そこで、学生の職能発達に応じて、それぞれの学習ニーズに沿って必要な教育実践力を修得できるようにカリキュラムを構成しています。



(5) コースワーク

教職実践専攻のカリキュラムは「教育実践研究」をコアにしています。そこでは、学校や地域の学校における実習体験を省察し、自分自身と現任校の課題を、チームで「発見/分析」・「解決/提案」・「探究/検証」していきます。学部新卒学生の場合と現職教員学生の場合を設定し、それぞれ「教育実践研究（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」を以下のような内容構成にしています。



< 学部新卒学生の場合 >

教育実践研究の各段階とねらい

学部新卒学生の場合の研究課題は、教師としての力量に関する自己課題が中心となります。経験の浅い学部新卒学生は真の自己課題を把握できない状態で入学すると考えられるため、それに対応する内容設定をしています。

< 現職教員学生の場合 >

教育実践研究の各段階とねらい

現職教員学生の場合の研究課題は、現任校及び地域の学校に実際に存在する課題が対象となります。現職教員学生は実践経験が豊富であり、多くの問題意識を持って入学すると考えられるため、真の課題の吟味・精選をした上でその解決を図るような内容設定をしています。

教育実践研究Ⅲ (課題探究)	協力校で教育実践しながら、自己課題や学校課題を発見し解決する計画を立案し、教職員と実践し評価する。その過程を言語化し、他者が活用できる実践研究を作成する。
教育実践研究Ⅱ (課題解決)	明確化した自己課題の解決を目標に課題解決実習(5週間集中)を実施、学校課題への影響も含めて評価を行う。その後、課題探究実習を通して、自己課題の克服を進める。
教育実践研究Ⅰ (課題発見)	実習校での継続的な実習と共通科目を通じた事例分析も活用し、自己課題(一部は学校課題)を明確にし、課題解決の目標を設定する。必要に応じて模擬授業も活用する。

教育実践研究Ⅲ (課題検証)	提案した改善計画に基づいて現任校や地域の学校で実践研究を行い、その成果を評価、検証、言語化し、他校でも活用できるように一般化する。
教育実践研究Ⅱ (課題提案)	課題分析で得られたいくつかの課題解決方法を現任校や地域の学校へ提案し、教職員と協働して次年度の改善計画を作成する。課題を定量的に抽出する活動等も取り入れる。
教育実践研究Ⅰ (課題分析)	共通科目も活用した分析法を踏まえて、現任校や地域の学校での課題を多角的視点から分析し、構造的に把握・明確化する。

XII 平成29年度開講科目及び担当教員

授 業 時 間 帯

I 限	8 : 40	～	9 : 40
II 限	9 : 50	～	10 : 50
III 限	11 : 00	～	12 : 00
IV 限	12 : 50	～	13 : 50
V 限	14 : 00	～	15 : 00
VI 限	15 : 10	～	16 : 10
VII 限	16 : 20	～	17 : 20
VIII 限	17 : 30	～	18 : 30
IX 限	19 : 00	～	20 : 30
X 限	20 : 40	～	22 : 10

(1) 学校教育学専攻

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火 I・II	
専門基礎科目	★	221001	学校教育研究特論 I (基礎理論)	2	●	尾島・寺澤・熊谷・高瀬・三宅(幹)	前期	金 I・II	
	★	221002	学校教育研究特論 II (教育学方法論)	2		山口(健)・尾上・高瀬	前期	火 V・VI	
	★	221003	学校教育研究特論 II (教育心理学方法論)	2		寺澤・山田(剛)・岡崎(善)	前期	随時	
	★	221004	学校教育研究特論 III (教育学)	2		尾上・梶井・平田(仁)	前期	水 I・II	
	★	221005	学校教育研究特論 III (教育心理学)	2		寺澤・山田(剛)・三宅(幹)・岡崎(善)・青木	前期	随時	
	★	221006	学校教育研究特論 IV (実践研究)	2	●	尾島 卓	後期	金 I・II	
専門科目		221101	教育哲学特論 I	2		平田 仁胤	前期		隔年開講
	★	221102	教育哲学特論 II	2		平田 仁胤	前期	月 V・VI	隔年開講
	★	221103	教育哲学特論演習	2		平田 仁胤	後期	月 V・VI	
		221104	日本教育史特論 I	2		梶井 一暁	前期		隔年開講
	★	221105	日本教育史特論 II	2		梶井 一暁	前期	木 V・VI	隔年開講
	★	221106	日本教育史特論演習	2		梶井 一暁	後期	木 V・VI	
		221107	西洋教育史特論 I	2		尾上 雅信	前期		隔年開講
	★	221108	西洋教育史特論 II	2		尾上 雅信	前期	金 V・VI	隔年開講
	★	221109	西洋教育史特論演習	2		尾上 雅信	後期	金 V・VI	
		221110	国際理解教育特論 I	2					開講予定なし
		221111	国際理解教育特論 II	2					開講予定なし
		221112	国際理解教育特論演習	2					開講予定なし
	★	221113	学習心理学特論 I	2		寺澤 孝文	前期	火 III・IV	隔年開講
		221114	学習心理学特論 II	2		寺澤 孝文	前期		隔年開講
		221115	学習心理学特論演習	2		寺澤 孝文	後期		隔年開講
		221116	教育臨床心理学特論	2					開講予定なし
		221117	生徒指導特論	2		青木 多寿子	前期		隔年開講
	★	221118	生徒指導特論演習	2		青木 多寿子	前期	水 I・II	隔年開講
		221119	教育評価法特論 I	2		山田 剛史	前期		隔年開講
	★	221120	教育評価法特論 II	2		山田 剛史	後期	木 III・IV	隔年開講
	★	221121	教育評価法特論演習	2		山田 剛史	後期	随時	隔年開講
		221122	児童心理学特論 I	2		岡崎 善弘	前期		隔年開講
	★	221123	児童心理学特論 II	2		岡崎 善弘	前期	木 V・VI	隔年開講
	★	221124	児童心理学特論演習	2		岡崎 善弘	後期	火 VII・VIII	隔年開講
	★	221125	青年心理学特論 I	2		三宅 幹子	前期	金 III・IV	隔年開講
		221126	青年心理学特論 II	2		三宅 幹子	前期		隔年開講
		221127	青年心理学特論演習	2		三宅 幹子	後期		隔年開講
	★	221128	進路指導特論	2		青木 多寿子	後期	水 I・II	隔年開講
	★	224111	学校カウンセリング特論 I	2		東條 光彦	後期	金 III・IV	H25年度以前入学生用
	★	224138	行動分析特論	2		東條 光彦	後期	金 III・IV	H26年度以降入学生用
	★	224112	学校カウンセリング特論 II	2		東條 光彦	前期	金 VII・VIII	H25年度以前入学生用
	★	224139	認知行動療法特論	2		東條 光彦	前期	金 VII・VIII	H26年度以降入学生用 2年次のみ
		221129	教育制度特論 I	2		高瀬 淳	前期		隔年開講
	★	221130	教育制度特論 II	2		高瀬 淳	前期	水 III・IV	隔年開講
	★	221131	教育制度特論演習	2		高瀬 淳	後期	水 III・IV	
	221132	教育制度特論 III	2					開講予定なし	
	221133	教育制度特論 IV	2					開講予定なし	
★	221134	社会教育学特論 I	2		熊谷 愼之輔	前期	木 III・IV	隔年開講	
	221135	社会教育学特論 II	2		熊谷 愼之輔	前期		隔年開講	

【注】学校教育研究特論 II (教育学方法論), 学校教育研究特論 III (教育学) または学校教育研究特論 II (教育心理学方法論), 学校教育研究特論 III (教育心理学) のいずれか必修。

(1) 学校教育学専攻

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
専門科目	★	221136	社会教育学特論演習	2		熊谷 慎之輔	後期	木Ⅲ・Ⅳ	
	★	221137	教育社会学特論Ⅰ	2		山口 健二	後期	火Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
		221138	教育社会学特論Ⅱ	2		山口 健二			隔年開講
	★	221139	教育社会学特論演習	2		山口 健二	後期	火Ⅶ・Ⅷ	
	★	221140	教育方法学特論Ⅰ	2		尾島 卓	前期	火Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
		221141	教育方法学特論Ⅱ	2		尾島 卓	前期		隔年開講
	★	221142	教育方法学特論演習	2		尾島 卓	後期	木Ⅲ・Ⅳ	
		221143	授業実践研究特論	2					開講予定なし
		221144	授業実践研究特論演習	2					開講予定なし
		221145	道德教育特論	2					開講予定なし
		221146	学校社会学特論Ⅰ	2		高旗 浩志			隔年開講
	★	221147	学校社会学特論Ⅱ	2		高旗 浩志	前期	月Ⅶ・Ⅷ	隔年開講
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(2) 発達支援学専攻

① 幼児教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火 I・II	
専門基礎科目	★	222001	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学)	2	●	片山・三村・大守	前期	金Ⅲ・Ⅳ	
	★	222002	発達支援研究特論Ⅱ(発達支援の方法論)	2	●	佐藤 暁	後期	月 I・II	
	★	222101	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学)	2	●	横松 友義	前期	金 I・II	
	★	222102	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学)	2	●	梶谷・高橋(敏)・西山	前期	木Ⅶ・Ⅷ	
	★	222103	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究)	2	●	高橋(敏)・梶谷・西山・横松・片山	後期	金 I・II	
専門科目		222111	保育内容特論(音楽表現)	2					開講予定なし
		222112	保育内容特論演習(音楽表現)	2					開講予定なし
	★	222113	保育内容特論(造形表現)	2		高橋 敏之	後期	木Ⅶ・Ⅷ	隔年開講
		222114	保育内容特論演習(造形表現)	2		高橋 敏之	後期		隔年開講
		222115	保育内容特論(健康)	2		梶谷 信之	前期		隔年開講
	★	222116	保育内容特論演習(健康)	2		梶谷 信之	前期	木Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	★	222117	幼児教育学特論	2		横松 友義	後期	金Ⅶ・Ⅷ	隔年開講
		222118	幼児教育学特論演習	2		横松 友義	後期		隔年開講
	★	222119	幼児心理学特論	2		片山 美香	前期	木Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
		222120	幼児心理学特論演習	2		片山 美香	前期		隔年開講
		222121	保育内容特論(人間関係)	2		西山 修	後期		隔年開講
	★	222122	保育内容特論演習(人間関係)	2		西山 修	後期	金Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(2) 発達支援学専攻

② 特別支援教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授 業 科 目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ	
専門基礎科目	★	222001	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学)	2	●	片山・三村・大守	前期	金Ⅲ・Ⅳ	
	★	222002	発達支援研究特論Ⅱ(発達支援の方法論)	2	●	佐藤 暁	後期	月Ⅰ・Ⅱ	
	★	222201	発達支援研究特論Ⅲ(特別支援教育学)	2	●	吉利 宗久	前期	木Ⅴ・Ⅵ	
	★	222202	発達支援研究特論Ⅳ(特別支援実践学)	2	●	大竹 喜久	前期	火Ⅲ・Ⅳ	
	★	222203	発達支援研究特論Ⅴ(特別支援教育実践研究)	2	●	佐藤(暁)・大竹・吉利・仲矢・大守・丹治	前期	水Ⅰ・Ⅱ	
専門科目	★	222211	特別支援教育学演習	2		吉利 宗久	後期	木Ⅲ・Ⅳ	隔年開講 隔年開講 通年4単位 後期・水曜5・6限へ続く 通年4単位 前期・火曜5・6から続く
	★	222212	特別支援実践学演習	2		大竹 喜久	後期	火Ⅲ・Ⅳ	
		222213	特別支援実践研究方法特論	2		大竹 喜久	後期		
	★	222214	特別支援授業論特論	2		仲矢 明孝	前期	金Ⅰ・Ⅱ	
	★	222216	特別支援心理学特論	2		丹治 敬之	前期	月Ⅴ・Ⅵ	
	★	222217	特別支援心理学演習	2		丹治 敬之	後期	月Ⅴ・Ⅵ	
	★	222218	特別支援病理学特論	2		大守 伊織	前期	木Ⅰ・Ⅱ	
	★	222219	特別支援病理学演習	2		大守 伊織	後期	木Ⅰ・Ⅱ	
	★	222220	特別支援教育臨床特論	2		佐藤 暁	前期	月Ⅰ・Ⅱ	
	★	222221	特別支援教育総合演習	4		佐藤(暁)・大竹・吉利・仲矢・丹治・大守	前期	火Ⅴ・Ⅵ	
	★	222221	特別支援教育総合演習	4		佐藤(暁)・大竹・吉利・仲矢・丹治・大守	後期	水Ⅴ・Ⅵ	
	★	222222	発達支援研究特論Ⅵ(特別支援教育実践研究)	2		佐藤(暁)・大竹・吉利・仲矢・丹治・大守	後期	水Ⅰ・Ⅱ	
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(2) 発達支援学専攻

③ 養護教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ	
専門基礎科目	★	222001	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学)	2	●	片山・三村・大守	前期	金Ⅲ・Ⅳ	
	★	222002	発達支援研究特論Ⅱ(発達支援の方法論)	2	●	佐藤 暁	後期	月Ⅰ・Ⅱ	
	★	222301	発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学)	2	●	棟方・上村・山内	前期	火Ⅲ・Ⅳ	
	★	222302	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学)	2	●	伊藤(武)・松枝・三村	前期	木Ⅴ・Ⅵ	
	★	222303	発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究)	2	●	上村・棟方・山内	前期	水Ⅴ・Ⅵ	
専門科目	★	222311	養護実践学特論(養護教諭論)	2		上村 弘子	後期	金Ⅴ・Ⅵ	
	★	222312	養護実践学特論演習(養護教諭論)	2		上村 弘子	前期	集中	
	★	222313	養護実践学特論(養護実践論)	2		宮本 香代子	後期	火Ⅲ・Ⅳ	
	★	222314	養護実践学特論演習(養護実践論)	2		宮本 香代子	後期	月Ⅴ・Ⅵ	
	★	222315	養護実践学特論(学校保健学)	2		山内 愛	前期	木Ⅰ・Ⅱ	
	★	222316	養護実践学特論演習(学校保健学)	2		山内 愛	後期	火Ⅰ・Ⅱ	
	★	222317	養護実践学特論(保健教育)	2		棟方 百熊	前期	金Ⅴ・Ⅵ	
	★	222318	学校保健医科学特論(健康科学)	2		津島 愛子	前期	金Ⅰ・Ⅱ	
	★	222319	学校保健医科学特論演習(健康科学)	2		津島 愛子	後期	木Ⅰ・Ⅱ	
	★	222320	学校保健医科学特論(環境と健康)	2		伊藤 武彦	後期	木Ⅴ・Ⅵ	
	★	222321	学校保健医科学特論演習(環境と健康)	2		伊藤 武彦	後期	木Ⅶ・Ⅷ	
	★	222322	学校保健医科学特論(小児保健)	2		三村 由香里	後期	金Ⅲ・Ⅳ	
	★	222323	学校保健医科学特論演習(小児保健)	2		三村 由香里	後期	金Ⅰ・Ⅱ	
	★	222324	学校保健医科学特論(学校看護学)	2		松枝 睦美	前期	火Ⅴ・Ⅵ	
	★	222325	学校保健医科学特論演習(学校看護学)	2		松枝 睦美	後期	木Ⅲ・Ⅳ	
	★	222326	養護実践学特論演習(保健教育)	2		棟方 百熊	後期	月Ⅲ・Ⅳ	
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

① 国語教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火 I・II	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論 I (基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水 I・II	
	★	223101	教育研究特論 II (国語)	2	●	田中 智生	前期	水 III・IV	
	★	223102	教育研究特論 III (国語)	2	●	浮田 真弓	前期	火 V・VI	
	★	223103	教育研究特論 IV (国語)	2	●	伊土・又吉・木村・土屋	前期	月 III・IV	
	★	223104	教育研究特論 V (国語)	2	●	浮田・田中(智)	後期	水 III・IV	
専門科目	★	223111	国語科教育学研究 I	2		田中 智生	後期	火 III・IV	隔年開講
		223112	国語科教育学研究 II	2		田中 智生	後期		隔年開講
	★	223113	国語科教育学研究 III	2		浮田 真弓	後期	月 III・IV	隔年開講
		223114	国語科教育学研究 IV	2		浮田 真弓	後期		隔年開講
	★	223121	教科内容特論 I (国語学)	2		伊土 耕平	後期	金 V・VI	隔年開講
		223122	教科内容特論 II (国語学)	2		伊土 耕平	後期		隔年開講
		223123	教科内容特論 III (国語学)	2		又吉 里美	前期		隔年開講
	★	223124	教科内容特論 IV (国語学)	2		又吉 里美	前期	金 III・IV	隔年開講
	★	223125	教科内容特論 I (近代文学)	2		木村 功	後期	木 I・II	隔年開講
		223126	教科内容特論 II (近代文学)	2		木村 功	後期		隔年開講
	★	223127	教科内容特論 I (古典文学)	2		松田 聡	前期	木 V・VI	
		223128	教科内容特論 II (古典文学)	2					開講予定なし
	★	223129	教科内容特論 I (漢文学)	2		土屋 聡	前期	月 V・VI	隔年開講
		223130	教科内容特論 II (漢文学)	2		土屋 聡	前期		隔年開講
	223131	教科内容特論 I (書写・書道)	2					開講予定なし	
	223132	教科内容特論 II (書写・書道)	2					開講予定なし	
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

② 社会科教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考	
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ		
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水Ⅰ・Ⅱ		
	★	223141	教育研究特論Ⅱ(社会)	2	●	桑原 敏典	前期	火Ⅲ・Ⅳ		
	★	223142	教育研究特論Ⅲ(社会)	2	●	山田 秀和	後期	水Ⅰ・Ⅱ		
	★	223143	教育研究特論Ⅳ(社会)	2	●	飯田・大江・大熊 ・川田・野邊・松 多・村井・宮崎	前期	金Ⅰ・Ⅱ		
	★	223144	教育研究特論Ⅴ(社会)	2	●	桑原(敏)・山田(秀)・和田	後期	水Ⅲ・Ⅳ		
専門科目	★	223151	社会科教育学研究Ⅰ	2		山田 秀和	前期	月Ⅶ・Ⅷ		
	★	223152	社会科教育学研究Ⅰ演習	2		山田 秀和	後期	月Ⅴ・Ⅵ		
	★	223153	社会科教育学研究Ⅱ	2		桑原 敏典	前期	木Ⅲ・Ⅳ		
	★	223154	社会科教育学研究Ⅱ演習	2		桑原 敏典	後期	木Ⅲ・Ⅳ		
	★	223155	社会科教育学研究Ⅲ	2		和田 文雄	前期	水Ⅲ・Ⅳ		
	★	223156	社会科教育学研究Ⅲ演習	2		和田 文雄	後期	水Ⅲ・Ⅳ		
	★	223161	教科内容特論Ⅰ(日本史)	2		村井 良介	前期	火Ⅴ・Ⅵ		
	★	223162	教科内容特論Ⅰ演習(日本史)	2		村井 良介	前期	木Ⅴ・Ⅵ		
	★	223163	教科内容特論Ⅱ(日本史)	2		村井 良介	後期	火Ⅴ・Ⅵ		
	★	223164	教科内容特論Ⅱ演習(日本史)	2		村井 良介	後期	木Ⅴ・Ⅵ		
	★	223165	教科内容特論Ⅰ(世界史)	2		飯田 洋介	前期	金Ⅴ・Ⅵ		
	★	223166	教科内容特論Ⅰ演習(世界史)	2		飯田 洋介	前期	金Ⅶ・Ⅷ		
	★	223167	教科内容特論Ⅱ(世界史)	2		飯田 洋介	後期	金Ⅴ・Ⅵ		
	★	223168	教科内容特論Ⅱ演習(世界史)	2		飯田 洋介	後期	金Ⅶ・Ⅷ		
	★	223169	教科内容特論Ⅰ(人文地理学)	2		川田 力	前期	水Ⅲ・Ⅳ		
	★	223170	教科内容特論Ⅰ演習(人文地理学)	2		川田 力	前期	金Ⅴ・Ⅵ		
	★	223171	教科内容特論Ⅱ(人文地理学)	2		川田 力	後期	火Ⅰ・Ⅱ		
	★	223172	教科内容特論Ⅱ演習(人文地理学)	2		川田 力	後期	金Ⅴ・Ⅵ		
	★	223173	教科内容特論Ⅰ(自然地理学)	2		松多 信尚	前期	木Ⅲ・Ⅳ		
	★	223174	教科内容特論Ⅰ演習(自然地理学)	2		松多 信尚	前期	水Ⅲ・Ⅳ		
	★	223175	教科内容特論Ⅱ(自然地理学)	2		松多 信尚	後期	火Ⅶ・Ⅷ		
	★	223176	教科内容特論Ⅱ演習(自然地理学)	2		松多 信尚	後期	火Ⅴ・Ⅵ		
			223177	教科内容特論Ⅰ(政治学)	2		未定			
			223178	教科内容特論Ⅰ演習(政治学)	2		未定			
			223179	教科内容特論Ⅱ(政治学)	2		未定			
			223180	教科内容特論Ⅱ演習(政治学)	2		未定			
	★	223181	教科内容特論Ⅰ(法学)	2		大江 洋	前期	月Ⅴ・Ⅵ		
	★	223182	教科内容特論Ⅰ演習(法学)	2		大江 洋	前期	月Ⅶ・Ⅷ		
	★	223183	教科内容特論Ⅱ(法学)	2		大江 洋	後期	月Ⅴ・Ⅵ		
	★	223184	教科内容特論Ⅱ演習(法学)	2		大江 洋	後期	月Ⅶ・Ⅷ		
★	223185	教科内容特論Ⅰ(経済学)	2		大熊 正哲	前期	月Ⅰ・Ⅱ			
★	223186	教科内容特論Ⅰ演習(経済学)	2		大熊 正哲	前期	月Ⅶ・Ⅷ			
★	223187	教科内容特論Ⅱ(経済学)	2		大熊 正哲	後期	月Ⅰ・Ⅱ			
★	223188	教科内容特論Ⅱ演習(経済学)	2		大熊 正哲	後期	月Ⅶ・Ⅷ			
★	223189	教科内容特論Ⅰ(社会学)	2		野邊 政雄	後期	水Ⅲ・Ⅳ			
		223190	教科内容特論Ⅰ演習(社会学)	2		野邊 政雄				
★	223191	教科内容特論Ⅱ(社会学)	2		野邊 政雄	後期	木Ⅲ・Ⅳ			
★	223192	教科内容特論Ⅱ演習(社会学)	2		野邊 政雄	後期	火Ⅴ・Ⅵ			
★	223193	教科内容特論Ⅰ(倫理学)	2		宮崎 宏志	前期	月Ⅲ・Ⅳ			
		223194	教科内容特論Ⅰ演習(倫理学)	2		宮崎 宏志				
★	223195	教科内容特論Ⅱ(倫理学)	2		宮崎 宏志	後期	月Ⅲ・Ⅳ			
		223196	教科内容特論Ⅱ演習(倫理学)	2		宮崎 宏志				

(3) 教科教育学専攻

② 社会科教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

③ 数学教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水Ⅰ・Ⅱ	
	★	223201	教育研究特論Ⅱ(数学)	2	●	平井 安久	前期	集中	
	★	223202	教育研究特論Ⅲ(数学)	2	●	岡崎 正和	前期	水Ⅲ・Ⅳ	
	★	223203	教育研究特論Ⅳ(数学)	2	●	宮内・中川・出未	前期	木Ⅶ・Ⅷ	
	★	223204	教育研究特論Ⅴ(数学)	2	●	平井 安久	前期	金Ⅲ・Ⅳ	
専門科目	★	223211	数学科教育学研究Ⅰ	2		岡崎 正和	後期	水Ⅲ・Ⅳ	
	★	223212	数学科教育学研究Ⅱ	2		岡崎 正和	後期	金Ⅴ・Ⅵ	
	★	223213	数学科教育学研究Ⅲ	2		平井 安久	後期	金Ⅰ・Ⅱ	
	★	223221	教科内容特論Ⅰ(代数学)	2		仲田 研登	前期	月Ⅴ・Ⅵ	
	★	223222	教科内容特論Ⅱ(代数学)	2		仲田 研登	後期	月Ⅴ・Ⅵ	
	★	223223	教科内容特論Ⅲ(代数学)	2		宮内 通孝	前期	木Ⅲ・Ⅳ	
	★	223224	教科内容特論Ⅳ(代数学)	2		宮内 通孝	後期	木Ⅲ・Ⅳ	
	★	223225	教科内容特論Ⅰ(幾何学)	2		中川 征樹	前期	火Ⅴ・Ⅵ	
	★	223226	教科内容特論Ⅱ(幾何学)	2		中川 征樹	後期	火Ⅲ・Ⅳ	
	★	223227	教科内容特論Ⅰ(解析学)	2		出未 光夫	前期	月Ⅶ・Ⅷ	
	★	223228	教科内容特論Ⅱ(解析学)	2		出未 光夫	後期	月Ⅰ・Ⅱ	
	★	223229	教科内容特論Ⅲ(解析学)	2		中村 登	前期	月Ⅰ・Ⅱ	
	★	223230	教科内容特論Ⅳ(解析学)	2		中村 登	後期	木Ⅰ・Ⅱ	
	★	223231	数学特別演習A	2		仲田 研登	前期	火Ⅲ・Ⅳ	
	★	223232	数学特別演習B	2		宮内 通孝	後期	木Ⅴ・Ⅵ	
	★	223233	数学特別演習C	2		中川 征樹	前期	木Ⅴ・Ⅵ	
	★	223234	数学特別演習D	2		出未 光夫	前期	金Ⅰ・Ⅱ	
	★	223235	数学特別演習E	2		中村 登	後期	火Ⅴ・Ⅵ	
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

④ 理科教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	2	●	藤井・平井 他 安原・喜多・安藤(元)・稲田・加藤・石川・藤井・宇野・伊藤(恵)・原田・川崎 安原・三宅(昭)・稲田・加藤・喜多・宇野・藤井・安藤(元)・石川・伊藤(恵)・原田・川崎 三宅(昭)・稲田・加藤・喜多・宇野・藤井・安藤(元)・石川・伊藤(恵)・原田・川崎 安原・三宅(昭)・稲田・加藤・喜多・宇野・藤井・安藤(元)・石川・伊藤(恵)・原田・川崎	前期	水Ⅰ・Ⅱ 月Ⅲ・Ⅳ 火Ⅲ・Ⅳ 木Ⅴ・Ⅵ 随時	
	★	223251	教育研究特論Ⅱ(理科)	2	●		前期		
	★	223252	教育研究特論Ⅲ(理科)	2	●		前期		
	★	223253	教育研究特論Ⅳ(理科)	2	●		前期		
	★	223254	教育研究特論Ⅴ(理科)	2	●		後期		
専門科目	★	223261	初等理科教育学研究Ⅰ	2		藤井 浩樹	前期	月Ⅲ・Ⅳ	
	★	223262	初等理科教育学研究Ⅱ	2		藤井 浩樹	後期	月Ⅴ・Ⅵ	
	★	223263	初等理科教育学研究演習	2		藤井・安原	通年	随時	隔年開講
	★	223264	中等理科教育学研究Ⅰ	2		川崎 弘作	前期	木Ⅰ・Ⅱ	
	★	223265	中等理科教育学研究Ⅱ	2		川崎 弘作	後期	金Ⅰ・Ⅱ	
		223266	中等理科教育学研究演習	2		川崎・三宅(昭)	通年		隔年開講
		223271	教科内容特論(物性物理学)	2		稲田 佳彦	前期		隔年開講
	★	223272	教科内容特論(物性物理学実験法)	2		稲田 佳彦	前期	月Ⅶ・Ⅷ	隔年開講
	★	223273	教科内容特論演習(物性物理学実験法)	2		稲田 佳彦	通年	随時	隔年開講
		223274	教科内容特論Ⅰ(現代物理学)	2		伊藤 恵司	後期		隔年開講
	★	223275	教科内容特論Ⅱ(現代物理学)	2		伊藤 恵司	後期	随時	隔年開講
	★	223276	教科内容特論演習(現代物理学)	2		伊藤 恵司	通年	随時	隔年開講
	★	223277	教科内容特論(有機化学)	2		石川 彰彦	後期	月Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	★	223278	教科内容特論演習(有機化学)	2		石川 彰彦	通年	随時	隔年開講
		223279	教科内容特論(生物化学)	2		石川 彰彦	後期		隔年開講
		223280	教科内容特論(無機化学)	2		喜多 雅一	前期		隔年開講
		223281	教科内容特論演習(無機化学)	2		喜多 雅一	通年		隔年開講
	★	223282	教科内容特論(物理化学)	2		喜多 雅一	前期	火Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	★	223283	教科内容特論演習(物理化学)	2		喜多 雅一	通年	随時	隔年開講
	★	223284	教科内容特論(動物学)	2		安藤 元紀	後期	水Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
		223285	教科内容特論(細胞生物学)	2		安藤 元紀	後期		隔年開講
	★	223286	教科内容特論演習(生命科学)	2		安藤 元紀	通年	随時	
	★	223288	教科内容特論(植物学)	2		原田 太郎	後期	火Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	★	223289	教科内容特論演習(植物学)	2		原田 太郎	通年	随時	
	★	223290	教科内容特論(固体地球科学)	2		宇野 康司	後期	火Ⅰ・Ⅱ	
	★	223291	教科内容特論演習(固体地球科学)	2		宇野 康司	通年	随時	
		223292	教科内容特論(流体地球科学)	2		加藤 内蔵進	後期		隔年開講
★	223293	教科内容特論演習(流体地球科学)	2		加藤 内蔵進	通年	随時		
★	223294	教科内容特論(地球惑星環境科学)	2		加藤 内蔵進	後期	木Ⅴ・Ⅵ	隔年開講	
	223295	教科内容特論(植物進化学)	2		原田 太郎			H26年度以前 入学生用	

(3) 教科教育学専攻

④ 理科教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
専門科目		223296	教科内容特論(植物分子生物学)	2		原田 太郎	後期		H27年度以降 入学生用 隔 年開講
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

⑤ 音楽教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火 I・II	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水 I・II	
	★	223301	教育研究特論Ⅱ(音楽)	2	●	早川 倫子	前期	金 V・VI	
	★	223302	教育研究特論Ⅲ(音楽)	2	●	小川 容子	前期	月 V・VI	
	★	223303	教育研究特論Ⅳ(音楽)	2	●	齊藤(武)・虫明・長岡・諸田・山本(宏)	前期	随時	
	★	223304	教育研究特論Ⅴ(音楽)	2	●	小川・早川	後期	随時	
専門科目	★	223311	音楽科教育学研究Ⅰ	2		小川 容子	後期	火 V・VI	隔年開講
		223312	音楽科教育学研究Ⅱ	2		小川 容子	後期		隔年開講
	★	223313	音楽科教育学研究Ⅲ	2		早川 倫子	後期	金 V・VI	隔年開講
		223314	音楽科教育学研究Ⅳ	2		早川 倫子	後期		隔年開講
	★	223321	教科内容特論Ⅰ(声楽)	2		虫明 眞砂子	前期	水 III・IV	隔年開講
		223322	教科内容特論Ⅱ(声楽)	2		虫明 眞砂子	前期		隔年開講
	★	223323	教科内容特論Ⅰ(器楽)	2		長岡 功	前期	随時	隔年開講
		223324	教科内容特論Ⅱ(器楽)	2		長岡 功	後期		隔年開講
		223325	教科内容特論Ⅲ(器楽)	2		諸田 大輔	後期		隔年開講
	★	223326	教科内容特論Ⅳ(器楽)	2		諸田 大輔	後期	月 III・IV	隔年開講
	★	223327	教科内容特論Ⅰ(音楽学)	2		山本 宏子	前期	火 V・VI	隔年開講
		223328	教科内容特論Ⅱ(音楽学)	2		山本 宏子	前期		隔年開講
	★	223329	教科内容特論Ⅰ(作曲法)	2		齊藤 武	前期	火 VII・VIII	隔年開講
	223330	教科内容特論Ⅱ(作曲法)	2		齊藤 武	前期		隔年開講	
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

⑥ 美術教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授 業 科 目	単 位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水Ⅰ・Ⅱ	
	★	223351	教育研究特論Ⅱ(美術)	2	●	赤木 里香子	前期	火Ⅲ・Ⅳ	
	★	223352	教育研究特論Ⅲ(美術)	2	●	大橋 功	前期	木Ⅴ・Ⅵ	
	★	223353	教育研究特論Ⅳ(美術)	2	●	上田・橋ヶ谷・泉谷・山本(和)	前期	金Ⅴ・Ⅵ	
	★	223354	教育研究特論Ⅴ(美術)	2	●	赤木・清田	後期	火Ⅶ・Ⅷ	
専門科目		223361	美術科教育学研究Ⅰ	2		赤木・清田	後期		隔年開講
	★	223362	美術科教育学研究Ⅱ	2		赤木・清田	後期	随時	隔年開講
		223363	美術科教育学研究Ⅲ	2		大橋 功	後期		隔年開講
	★	223364	美術科教育学研究Ⅳ	2		大橋 功	後期	月Ⅶ・Ⅷ	隔年開講
		223371	教科内容特論Ⅰ(絵画)	2		泉谷 淑夫	後期		隔年開講
	★	223372	教科内容特論Ⅱ(絵画)	2		泉谷 淑夫	後期	月Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
		223375	教科内容特論Ⅰ(彫刻)	2		上田 久利	前期		隔年開講
	★	223376	教科内容特論Ⅱ(彫刻)	2		上田 久利	前期	木Ⅶ・Ⅷ	隔年開講
		223377	教科内容特論Ⅲ(彫刻)	2		上田 久利	後期		隔年開講
	★	223378	教科内容特論Ⅳ(彫刻)	2		上田 久利	後期	随時	隔年開講
		223379	教科内容特論Ⅰ(デザイン)	2		橋ヶ谷 佳正	前期		隔年開講
	★	223380	教科内容特論Ⅱ(デザイン)	2		橋ヶ谷 佳正	前期	月Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
		223381	教科内容特論Ⅰ(木工)	2		山本 和史	前期		H25年度以前入学生用 隔年開講
	★	223382	教科内容特論Ⅱ(木工)	2		山本 和史	前期	火Ⅴ・Ⅵ	H25年度以前入学生用 隔年開講
	★	223383	教科内容特論演習(木工)	2		山本 和史	後期	火Ⅴ・Ⅵ	H25年度以前入学生用
		223388	教科内容特論Ⅰ(工芸)	2		山本 和史	前期		H26年度以降入学生用 隔年開講
★	223389	教科内容特論Ⅱ(工芸)	2		山本 和史	前期	火Ⅴ・Ⅵ	H26年度以降入学生用 隔年開講	
★	223390	教科内容特論演習(工芸)	2		山本 和史	後期	火Ⅴ・Ⅵ	H26年度以降入学生用	
★	223387	教科内容特論(美術理論・美術史)	2		赤木・江原・才士	前期	木Ⅲ・Ⅳ		
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

⑦ 保健体育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火 I・II	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論 I (基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水 I・II	
	★	223401	教育研究特論 II (保健体育)	2	●	原 祐一	前期	金 I・II	
	★	223402	教育研究特論 III (保健体育)	2	●	足立 稔	後期	木 VII・VIII	
	★	223403	教育研究特論 IV (保健体育)	2	●	高岡 敦史	前期	火 III・IV	
	★	223404	教育研究特論 V (保健体育)	2	●	原 祐一	後期	随時	
専門科目	★	223411	保健体育科教育学研究 I	2		原 祐一	後期	木 I・II	開講予定なし H26年度以降入学生用 H26年度以降入学生用 H25年度以前入学生用 H25年度以前入学生用 開講予定なし 開講予定なし 開講予定なし 開講予定なし 開講予定なし
		223412	保健体育科教育学研究 II	2					
	★	223421	教科内容特論 I (体育学)	2		高岡 敦史	前期	木 V・VI	
	★	223422	教科内容特論 I 演習 (体育学)	2		高岡 敦史	後期	集中	
	★	223423	教科内容特論 II (体育学)	2		畑 孝幸	前期	水 III・IV	
	★	223424	教科内容特論 II 演習 (体育学)	2		畑 孝幸	後期	水 I・II	
	★	223425	教科内容特論 III (体育学)	2		畑 孝幸	前期	水 III・IV	
	★	223426	教科内容特論 III 演習 (体育学)	2		畑 孝幸	後期	水 I・II	
	★	223429	教科内容特論 I (運動学)	2		加賀 勝	前期	金 III・IV	
	★	223430	教科内容特論 I 演習 (運動学)	2		加賀 勝	後期	金 III・IV	
	★	223431	教科内容特論 II (運動学)	2		鈴木 久雄	前期	月 III・IV	
	★	223432	教科内容特論 II 演習 (運動学)	2		鈴木 久雄	後期	火 I・II	
	★	223433	教科内容特論 III (運動学)	2		酒向 治子	前期	木 VII・VIII	
	★	223434	教科内容特論 III 演習 (運動学)	2		酒向 治子	後期	木 V・VI	
		223435	教科内容特論 IV (運動学)	2					
		223436	教科内容特論 IV 演習 (運動学)	2					
	★	223437	教科内容特論 I (学校保健学)	2		足立 稔	前期	木 I・II	
	223438	教科内容特論 I 演習 (学校保健学)	2						
	223439	教科内容特論 II (学校保健学)	2						
	223440	教科内容特論 II 演習 (学校保健学)	2						
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

⑧ 技術教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授 業 科 目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火 I・II	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水 I・II	
	★	223451	教育研究特論Ⅱ(技術)	2	●	入江・笠井・田島	前期	金 V・VI	
	★	223452	教育研究特論Ⅲ(技術)	2	●	妹尾・平田(晴)	前期	水Ⅲ・Ⅳ	
	★	223453	教育研究特論Ⅳ(技術)	2	●	入江・笠井・田島	前期	金Ⅶ・Ⅷ	
	★	223454	教育研究特論Ⅴ(技術)	2	●	平田(晴)・妹尾	後期	水Ⅲ・Ⅳ	
専門科目	★	223461	技術科教育学研究Ⅰ	2		妹尾 一道	前期	月 V・VI	
	★	223462	技術科教育学研究Ⅱ	2		妹尾 一道	後期	月 V・VI	
	★	223463	技術科教育学研究Ⅲ	2		平田 晴路	前期	金Ⅲ・Ⅳ	
	★	223464	技術科教育学研究Ⅳ	2		平田 晴路	後期	金Ⅶ・Ⅷ	
	★	223471	教科内容特論Ⅰ(機械)	2		田島 俊造	前期	火Ⅶ・Ⅷ	
	★	223472	教科内容特論Ⅱ(機械)	2		田島 俊造	後期	火Ⅶ・Ⅷ	
	★	223473	教科内容特論Ⅰ(電気)	2		入江 隆	前期	火 V・VI	
	★	223474	教科内容特論Ⅱ(電気)	2		入江 隆	後期	火 V・VI	
	★	223475	教科内容特論Ⅰ(情報)	2		笠井 俊信	前期	木 V・VI	
	★	223476	教科内容特論Ⅱ(情報)	2		笠井 俊信	後期	木 V・VI	
			223477	教科内容特論Ⅰ(電気・情報)	2				
		223478	教科内容特論Ⅱ(電気・情報)	2					開講予定なし
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(3) 教科教育学専攻

⑨ 家政教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火 I・II	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論 I (基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水 I・II	2年次のみ
	★	223501	教育研究特論 II (家庭)	2	●	佐藤 園	前期	金 V・VI	
	★	223502	教育研究特論 III (家庭)	2	●	佐藤 園	後期	金 V・VI	
	★	223503	教育研究特論 IV (家庭)	2	●	河田・篠原・李	前期	木 VII・VIII	
	★	223504	教育研究特論 V (家庭)	2	●	佐藤 園	前期	水 I・II	
専門科目	★	223511	家庭科教育学研究 I	2		佐藤 園	後期	火 III・IV	2年次のみ
	★	223512	家庭科教育学研究 II	2		考藤 悦子	前期	月 III・IV	
		223521	教科内容特論 I (家庭経営学)	2		未定	前期		
	★	223522	教科内容特論 II (家庭経営学)	2		李 璟媛	後期	火 VII・VIII	
	★	223523	教科内容特論 I (家族関係学)	2		李 璟媛	前期	火 III・IV	
	★	223524	教科内容特論 II (家族関係学)	2		李 璟媛	後期	火 V・VI	
	★	223525	教科内容特論 I (食物科学)	2		河田 哲典	前期	木 V・VI	
	★	223526	教科内容特論 II (食物科学)	2		河田 哲典	後期	木 III・IV	
	★	223527	教科内容特論 III (食物科学)	2		河田・栗坂	前期	火 I・II	
	★	223528	教科内容特論 IV (食物科学)	2		河田・栗坂	後期	金 VII・VIII	
	★	223529	教科内容特論実験 (食物科学)	2		河田 哲典	前期	火 V・VI	
	★	223529	教科内容特論実験 (食物科学)	2		河田 哲典	前期	火 VII・VIII	
	★	223530	教科内容特論 I (被服科学)	2		篠原 陽子	前期	金 III・IV	
	★	223531	教科内容特論 II (被服科学)	2		篠原 陽子	後期	金 III・IV	
	★	223532	教科内容特論実験 (被服科学)	2		篠原 陽子	後期	木 V・VI	
	★	223532	教科内容特論実験 (被服科学)	2		篠原 陽子	後期	木 VII・VIII	
		223533	教科内容特論 I (住居学)	2		未定	前期		
		223534	教科内容特論 II (住居学)	2		未定	後期		
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			木7・8限に続く 木5・6限から続く

(3) 教科教育学専攻

⑩ 英語教育コース

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ	
専門基礎科目	★	223001	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	2	●	藤井・平井 他	前期	水Ⅰ・Ⅱ	
	★	223551	教育研究特論Ⅱ(英語)	2	●	高塚・瀬田・脇本 ・岡田・ガードナー・ 小山	前期	金Ⅴ・Ⅵ	
	★	223552	教育研究特論Ⅲ(英語)	2	●	高塚 成信	前期	月Ⅲ・Ⅳ	
	★	223553	教育研究特論Ⅳ(英語)	2	●	瀬田・脇本・岡田 ・ガードナー	後期	火Ⅶ・Ⅷ	
	★	223554	教育研究特論Ⅴ(英語)	2	●	高塚 成信	後期	月Ⅲ・Ⅳ	
専門科目	★	223561	英語科教育学研究Ⅰ	2		高塚 成信	後期	木Ⅴ・Ⅵ	開講予定なし 開講予定なし 開講予定なし
	★	223562	英語科教育学研究Ⅱ	2		小山 尚史	後期	金Ⅴ・Ⅵ	
	★	223571	教科内容特論Ⅰ(英語学)	2		瀬田 幸人	前期	金Ⅲ・Ⅳ	
	★	223572	教科内容特論Ⅱ(英語学)	2		瀬田 幸人	後期	金Ⅲ・Ⅳ	
	★	223573	教科内容特論Ⅲ(英語学)	2		脇本 恭子	前期	水Ⅲ・Ⅳ	
	★	223574	教科内容特論Ⅳ(英語学)	2		脇本 恭子	後期	火Ⅲ・Ⅳ	
	★	223575	教科内容特論Ⅰ(英語コミュニケーション)	2		スコット ガードナー	後期	火Ⅰ・Ⅱ	
		223576	教科内容特論Ⅱ(英語コミュニケーション)	2					
		223577	教科内容特論Ⅰ(英米文学)	2					
		223578	教科内容特論Ⅱ(英米文学)	2					
	★	223579	教科内容特論Ⅲ(英米文学)	2		岡田 和也	前期	木Ⅲ・Ⅳ	
★	223580	教科内容特論Ⅳ(英米文学)	2		岡田 和也	後期	木Ⅲ・Ⅳ		
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員			

(4) 教育臨床心理学専攻

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
共通基礎科目	★	220001	学校教育の理念と今日的課題	2	●	加賀 勝 他	前期	火Ⅰ・Ⅱ	
専門基礎科目	★	224001	臨床心理学特論Ⅰ	2	●	上地 雄一郎	前期	月Ⅲ・Ⅳ	
	★	224002	臨床心理面接特論Ⅰ	2	●	安藤 美華代	前期	火Ⅶ・Ⅷ	
	★	224003	臨床心理査定演習Ⅰ	2	●	武井 祐子	前期	集中	
	★	224004	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	●	東條・上地	前期	水Ⅰ・Ⅱ	水3・4限に続く
	★	224004	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	●	東條・上地	前期	水Ⅲ・Ⅳ	水1・2限から続く
	★	224005	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	●	上地・東條	後期	水Ⅰ・Ⅱ	水3・4限に続く
	★	224005	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	●	上地・東條	後期	水Ⅲ・Ⅳ	水1・2限から続く
	★	224006	臨床心理応用実習Ⅰ	1	●	塚本・安藤(美)・上地	前期	月Ⅸ・Ⅹ	2年次のみ
★	224008	臨床心理応用実習Ⅱ	1	●	塚本・安藤(美)・上地	後期	月Ⅸ・Ⅹ	2年次のみ	
専門科目	★	224101	臨床心理学特論Ⅱ	2		東條 光彦	後期	金Ⅴ・Ⅵ	
	★	224102	臨床心理面接特論Ⅱ	2		塚本 千秋	後期	火Ⅴ・Ⅵ	
	★	224103	臨床心理査定演習Ⅱ	2		安藤 美華代	後期	火Ⅰ・Ⅱ	
	★	224104	臨床心理応用実習Ⅲ	1		安藤(美)・東條・塚本	通年	随時	
	★	224127	臨床心理応用実習Ⅳ①	1		上地 雄一郎	前期	随時	2年次のみ ①～④のいずれかを履修
	★	224128	臨床心理応用実習Ⅳ②	1		塚本 千秋	前期	随時	
	★	224129	臨床心理応用実習Ⅳ③	1		東條 光彦	前期	随時	
	★	224130	臨床心理応用実習Ⅳ④	1		安藤 美華代	前期	随時	
	★	224132	臨床心理応用実習Ⅴ①	1		上地 雄一郎	後期	随時	2年次のみ ①～④のいずれかを履修
	★	224133	臨床心理応用実習Ⅴ②	1		塚本 千秋	後期	随時	
	★	224134	臨床心理応用実習Ⅴ③	1		東條 光彦	後期	随時	
	★	224135	臨床心理応用実習Ⅴ④	1		安藤 美華代	後期	随時	
	★	224105	心理学研究法特論Ⅰ①	2		上地 雄一郎	前期	随時	
	★	224116	心理学研究法特論Ⅰ②	2		塚本 千秋	前期	随時	
	★	224117	心理学研究法特論Ⅰ③	2		東條 光彦	前期	随時	
	★	224118	心理学研究法特論Ⅰ④	2		安藤 美華代	前期	随時	
	★	224106	心理学研究法特論Ⅱ①	2		上地 雄一郎	後期	随時	
	★	224120	心理学研究法特論Ⅱ②	2		塚本 千秋	後期	随時	
	★	224121	心理学研究法特論Ⅱ③	2		東條 光彦	後期	随時	
	★	224122	心理学研究法特論Ⅱ④	2		安藤 美華代	後期	随時	
	★	224107	臨床心理学研究法特論	2		上地 雄一郎	前期	月Ⅴ・Ⅵ	
	★	221125	青年心理学特論Ⅰ	2		三宅 幹子	前期	金Ⅲ・Ⅳ	学校教育学専攻(79頁)参照 隔年開講
	221126	青年心理学特論Ⅱ	2		三宅 幹子	前期		学校教育学専攻(79頁)参照 隔年開講	
	221122	児童心理学特論Ⅰ	2		岡崎 善弘	前期		学校教育学専攻(79頁)参照 隔年開講	
★	221123	児童心理学特論Ⅱ	2		岡崎 善弘	前期	木Ⅴ・Ⅵ	学校教育学専攻(79頁)参照 隔年開講	
★	224108	発達心理学特論	2		片山 美香	前期	木Ⅲ・Ⅳ		
	221119	教育評価法特論Ⅰ	2		山田 剛史	前期		学校教育学専攻(79頁)参照 隔年開講	
★	221120	教育評価法特論Ⅱ	2		山田 剛史	後期	木Ⅲ・Ⅳ	学校教育学専	

【注】「日本臨床心理士資格認定協会」の履修基準(「臨床心理士指定科目表(平成29年度)」)をよく確認の上、必修科目と選択必修科目(A～E群)を全て履修できるよう計画を立てること。

(4) 教育臨床心理学専攻

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
専門科目	★	221113	学習心理学特論Ⅰ	2		寺澤 孝文	前期	火Ⅲ・Ⅳ	攻(79頁)参照 隔年開講
		221114	学習心理学特論Ⅱ	2		寺澤 孝文	前期		学校教育学専攻(79頁)参照 隔年開講
	★	224109	精神医学特論	2	●	塚本 千秋	前期	火Ⅴ・Ⅵ	
	★	224137	臨床健康心理学特論	2		安藤 美華代	後期	月Ⅲ・Ⅳ	H26年度以降 入学生用
	★	224138	行動分析特論	2		東條 光彦	後期	金Ⅲ・Ⅳ	H26年度以降 入学生用
	★	224139	認知行動療法特論	2		東條 光彦	前期	金Ⅶ・Ⅷ	H26年度以降 入学生用 2 年次のみ
	★	224140	学校臨床心理学特論	2		塚本 千秋	前期	月Ⅲ・Ⅳ	H26年度以降 入学生用 2 年次のみ
	★	224114	グループアプローチ特論	2	●	中島 弘徳	後期	金Ⅰ・Ⅱ	
		224125	表現療法特論	2					
		224115	教育社会心理学特論	2			前期		開講未定
	★	224141	現代精神分析特論	2		上地 雄一郎	前期	金Ⅲ・Ⅳ	H26年度以降 入学生用 2 年次のみ
	★	224142	家族関係特論	2		上地 雄一郎	前期	集中	H26年度以降 入学生用
	★	224143	心理教育特論	2		安藤 美華代	前期	月Ⅴ・Ⅵ	2年次のみ
★	222218	特別支援病理学特論	2		大守 伊織	前期	木Ⅰ・Ⅱ		
			対人社会心理学	2		田中 共子			社文研
			社会的認知	2		堀内 孝			社文研
課題研究	★		課題研究	4	●	指導教員	後期	随時	2年次のみ

臨床心理士指定科目表(平成29年度)

授業科目	単位	群別	担当者	備考
必修科目	臨床心理学特論Ⅰ	2	上地 雄一郎	
	臨床心理学特論Ⅱ	2	東條 光彦	
	臨床心理面接特論Ⅰ	2	安藤 美華代	
	臨床心理面接特論Ⅱ	2	塚本 千秋	
	臨床心理査定演習Ⅰ	2	武井 祐子	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2	安藤 美華代	
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	東條 光彦・上地 雄一郎	
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	上地 雄一郎・東條 光彦	
	臨床心理応用実習Ⅰ	1	塚本・安藤・上地	
	臨床心理応用実習Ⅱ	1	塚本・安藤・上地	
	臨床心理応用実習Ⅲ	1	安藤・東條・塚本	
	臨床心理応用実習Ⅳ	1	上地・塚本・東條・安藤	
	臨床心理応用実習Ⅴ	1	上地・塚本・東條・安藤	
選択必修科目	心理学研究法特論Ⅰ	2	上地・塚本・東條・安藤	
	心理学研究法特論Ⅱ	2	上地・塚本・東條・安藤	
	教育評価法特論Ⅰ	2	A群 山田 剛史	
	教育評価法特論Ⅱ	2	山田 剛史	
	児童心理学特論Ⅰ	2	B群 岡崎 善弘	
	児童心理学特論Ⅱ	2	岡崎 善弘	
	青年心理学特論Ⅰ	2	三宅 幹子	
	青年心理学特論Ⅱ	2	三宅 幹子	
	発達心理学特論	2	片山 美香	
	学習心理学特論Ⅰ	2	寺澤 孝文	
	学習心理学特論Ⅱ	2	寺澤 孝文	
	教育社会心理学特論	2	C群 未定	
	家族関係特論	2	上地 雄一郎	
	対人社会心理学(心理学Ⅲ)	2	田中 共子	社会文化科学研究科開講科目
	社会的認知(心理学Ⅳ)	2	堀田 孝	社会文化科学研究科開講科目
	特別支援病理学特論	2	D群 大守 伊織	
	精神医学特論	2	塚本 千秋	本学独自の指定により、必修科目とする。
	臨床健康心理学特論	2	安藤 美華代	
	現代精神分析特論	2	E群 上地 雄一郎	
	行動分析特論	2	東條 光彦	
認知行動療法特論	2	東條 光彦		
学校臨床心理学特論	2	塚本 千秋		
グループアプローチ特論	2	中島 弘徳	本学独自の指定により、必修科目とする。	
表現療法特論	2	桑原 晴子		
心理教育特論	2	安藤 美華代		

A～E群については、各群2単位以上、合計10単位以上を履修すること。

(5) 教職実践専攻

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考		
共通科目	★	225001	教育課程編成の実践と課題	2	●	住野・未定	前期	金Ⅲ・Ⅳ	金曜Ⅰ・Ⅱ限、 集中(一部)		
	★	225003	学習指導の実践と課題	2	●	寺澤・未定	後期	火Ⅴ・Ⅵ			
	★	225004	授業の指導計画と教材開発	2	●	宮本(浩)・黒崎	前期	火Ⅶ・Ⅷ			
	★	225005	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題	2	●	住野・村松・岩堂	前期	木Ⅲ・Ⅳ			
	★	225007	学級・学年・学校経営の実践と課題	2	●	金川・今井	前期	火Ⅴ・Ⅵ			
	★	225008	学校保健・学校安全とリスクマネジメント	2	●	宮本(香)・伊藤(武)	前期	火Ⅲ・Ⅳ			
	★	225009	学校教育の役割と教師の職能成長	2	●	三沢・熊谷・高瀬・今井	前期	木Ⅰ・Ⅱ			
	★	225010	学校とコミュニティ	2	●	熊谷・岩堂	後期	木Ⅴ・Ⅵ			
	★	225011	教育実践研究の方法	2	●	住野・金川・小林・山田・伊藤(武)・宮本(浩)	前期	随時			
	★	225012	特色あるカリキュラムの開発	2	●	小林・高瀬・宮本(浩)・未定	後期	木Ⅲ・Ⅳ			
	★	225013	通常学級における特別支援教育の実践と課題	2	●	仲矢・佐藤(暁)	後期	金Ⅴ・Ⅵ			
	選択科目	★	225103	教材開発と授業デザイン	2		宮本(浩)・黒崎	前期		月Ⅶ・Ⅷ	開講予定なし 集中(一部)
		★	225106	子ども分析と学級経営	2		住野・村松・未定	後期		月Ⅶ・Ⅷ	
★		225107	特別活動とキャリア教育の実践	2		高瀬・高旗・青木・未定	後期	月Ⅴ・Ⅵ			
		225110	教育相談の技術と実践	2		村松 他	前期				
★		225112	スクールリーダーと組織開発	2		住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	前期	金Ⅴ・Ⅵ			
★		225113	学校経営戦略と評価	2		金川・今井	前期	木Ⅶ・Ⅷ			
★		225115	教師の職能成長とコーチング	2		三沢 良	後期	木Ⅶ・Ⅷ			
★		225119	授業アセスメント技術とその応用	2		宮本(浩)・住野	前期	火Ⅰ・Ⅱ			
		225120	学習意欲を高める学習指導の理論と実践	2		寺澤・未定					
★		225121	授業実践におけるICT活用	2		山崎 光洋	後期	火Ⅰ・Ⅱ			
★		225122	通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくり	2		仲矢・大竹	後期	集中			
★		225123	生徒指導と発達支援教育	2		宮本(香)・小林・大竹・渡邊・未定	前期	月Ⅴ・Ⅵ			
★		225124	校内研修のマネジメントとコンサルテーション	2		金川・未定	後期	火Ⅲ・Ⅳ			
★		225125	教育法規の理論と実務演習	2		高瀬 淳	前期	木Ⅴ・Ⅵ			
★		225126	道徳科の理論と実践	2		小林 万里子	後期	火Ⅰ・Ⅱ			
★		225127	指導と評価の理論と実践	2		宮本 浩治	後期	金Ⅰ・Ⅱ			
★		225128	アクティブラーニングの理論と実践	2		高旗・未定	後期	火Ⅶ・Ⅷ			
★		225129	小学校英語教科化の理論と実践	2		高塚・未定	後期	木Ⅰ・Ⅱ			
		225130	小学校理科学習指導の理論と実践	2		山崎 光洋					
★		225131	特別支援教育コーディネーター実践論	2		仲矢・吉利・佐藤(暁)・丹治	後期	水Ⅰ・Ⅱ			
★	225118	教育実践研究Ⅰ(課題発見)	2		住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	前期	月Ⅱ・Ⅲ				
★		教育実践研究Ⅱ(課題解決)	2		指導教員	後期	月Ⅱ・Ⅲ				
★		教育実践研究Ⅲ(課題探究)	4		指導教員	通年	随時				
★		教育実践研究Ⅰ(課題分析)	2		指導教員	前期	金Ⅶ・Ⅷ				

【注】教育実践研究Ⅱ(課題解決),教育実践研究Ⅲ(課題探求),教育実践研究Ⅰ(課題分析),教育実践研究Ⅱ(課題提案),教育実践研究Ⅲ(課題検証)の講義番号(指導教員別)は,オリエンテーションで配付する一覧表を参照のこと。

(5) 教職実践専攻

科目区分	開講★	講義番号	授業科目	単位	必修●	担当教員	開講期別	曜日・時限	備考
選択科目	★		教育実践研究Ⅱ(課題提案)	2		指導教員	後期	金Ⅶ・Ⅷ	現職院生
	★		教育実践研究Ⅲ(課題検証)	4		指導教員	通年	随時	現職院生
学校における実習	★	225201	課題発見実習	3	●	住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	前期	水	新卒院生・終日実習
	★	225207	課題解決実習	5	●	住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	前期	集中	
	★	225216	課題探究実習	2	●	住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	後期	水Ⅰ・Ⅱ	新卒院生 水3限まで続く
	★	225218	課題分析実習	4	●	住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	通年	月・水	現職院生 ※シャドウイング実習のいずれかを履修(終日実習)
	★	225219	シャドウイング実習	4	●	住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	通年	月・水	現職院生 ※課題分析実習のいずれかを履修(終日実習)
	★	225217	課題検証実習	6	●	住野・今井・熊谷・高瀬・寺澤・仲矢・宮本(香)・金川・小林・宮本(浩)・三沢・村松・岩堂・未定	通年	火・木・金	現職院生 2年次(終日実習)